

令和7年度

福岡県立美術館年報

目 次

沿革	1
展覧会事業一覧	4
月別入館者数一覧	5
展覧会事業	
1 常設展	6
2 企画展	12
3 共催展	17
貸館事業	26
普及事業	30
スクールミュージアム事業（アートコース）	32
収集事業	34
博物館実習	38
美術作品の貸出	39
どこでもケンビ（バーチャル美術館事業）	40
組織図・名簿	41
主要各室概要	42
建築概要	44
設備概要	45
年度別入館者状況	46
企画展の開催状況一覧	47
共催展（実行委員会方式）の開催状況一覧	48
福岡県美術展覧会（県展）の開催状況一覧	50
県展巡回展の開催状況一覧	51
主要貸館展の開催状況一覧	52
美術館利用案内	53

沿 革

昭和 29 年 3 月	福岡文化センター建設期成連盟（会長・荒川文六）を結成
昭和 35 年 9 月 10 日	福岡県と福岡市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を交換。市が市民会館を、県が図書館と美術館を建設することを決定
昭和 38 年 2 月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし工費 34,056 万円をもって 2 月 15 日着工、翌 39 年 8 月 15 日落成
昭和 39 年 11 月 3 日	文化会館が中央区天神 5 丁目に開館、鉄筋コンクリート 4 階建て、書庫地下 1 階、地上 7 階、延べ 7,205 m ²
昭和 54 年 12 月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が 12 月県議会において議決
昭和 55 年 8 月 8 日	福岡県文化会館を美術専門の施設として活用することについて、福岡県文化会館改築検討委員会発足
昭和 57 年 6 月 2 日	福岡県文化会館改築検討委員会から「福岡県文化会館の基本構想－新しい出発に際して－」提案
昭和 58 年 6 月	福岡県文化会館改築設計費が 6 月県議会にて議決
昭和 59 年 3 月	福岡県文化会館改築工事費が 3 月県議会にて議決
昭和 59 年 7 月 1 日	改築工事のため福岡市早良区百道に県文化会館美術部仮事務所設置
昭和 59 年 7 月 6 日	美術館部門は、総工費約 14 億円を持って全面改築工事起工
昭和 60 年 3 月 31 日	『尾形家絵画資料目録』を発行
昭和 60 年 7 月 30 日	「福岡県立美術館組織規則」（教育委員会規則第 8 号）制定 「福岡県立美術館協議会規則」（教育委員会規則第 9 号）制定
昭和 60 年 7 月 31 日	県立美術館改築工事竣工
昭和 60 年 8 月 1 日	「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、県立美術館及び美術館協議会を設置
昭和 60 年 10 月 22 日	「福岡県立美術館の利用等に関する規則」（教育委員会規則第 11 号）制定
昭和 60 年 11 月 2 日	「福岡県立美術館使用料条例施行規則」（県規則第 62 号）改正
昭和 60 年 11 月 3 日	県立美術館開館
昭和 60 年 11 月 3 日	開館記念特別展「現代美術の展望'85 FUKUOKA 変貌するイマジネーション」開催
昭和 60 年 11 月 3 日	館ニュース「とっぷらいと」創刊号を発行
昭和 60 年 12 月 24 日	博物館法第 10 条により博物館登録原簿に登録
昭和 61 年 3 月 31 日	『尾形家絵画資料図版』を発行
昭和 61 年 11 月 13 日	日本博物館協議会全国大会を幹事県として開催
昭和 62 年 7 月 2 日	実行委員会方式による第 1 回展として「第 42 回春の院展」を開催
平成 2 年 3 月 30 日	「福岡県立美術館美術品取得基金条例」（条例第 15 号）制定
平成 2 年 7 月 23 日	「福岡県立美術館美術品取得基金管理規則」（県規則第 35 号）制定
平成 2 年 10 月 6 日	とびうめ国体記念展として「ホノルル美術館所蔵品によるヨーロッパ・アメリカの版画展」及び「福岡県現代の工芸秀作展」を開催
平成 3 年 3 月 6 日	第 1 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西洋絵画への挑戦」を開催
平成 3 年 7 月 30 日	アジア・ジュニア美術展福岡'91（第 1 回）を開催
平成 3 年 7 月 31 日	県立美術館外壁工事終了
平成 4 年 3 月 5 日	第 2 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西國工藝博覧會」を開催
平成 4 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 27 号）改正し、展示室の観覧料、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 4 年 6 月 29 日	「美術館連絡協議会」に新規加盟
平成 4 年 10 月 3 日	ハイビジョン静止画システムを導入し、ハイビジョンギャラリーを開設
平成 4 年 10 月 20 日	九州博物館協議会第 22 回学芸員・事務職員研修会を幹事県として開催
平成 5 年 2 月 11 日	第 3 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「黄檗禅の美術」を開催
平成 5 年 8 月 3 日	アジア・ジュニア美術展福岡'93（第 2 回）を開催
平成 5 年 10 月 7 日	西瀬戸 7 県合同企画展「西瀬戸近代美術展」開催

平成 5 年 10 月 9 日	国立アジア文明博物館の誘致実現に向けた、日中韓合同企画「アジア文明交流展」（主催：アジア文明交流展実行委員会）を開催
平成 5 年 11 月 8 日	美術図書室に児童生徒用の図書コーナー設置
平成 6 年 9 月 6 日	第 50 回県展開催
平成 6 年 9 月 17 日	第 50 回福岡県美術展覧会記念講演会
平成 6 年 11 月 20 日	大内田茂士遺作収蔵庫設置
平成 7 年 3 月 31 日	『大内田茂士遺作受贈目録』を発行
平成 7 年 7 月 21 日	アジア・ジュニア美術展福岡'95（第 3 回）を開催
平成 7 年 9 月 15 日	『福岡県立美術館所蔵名作 50 選』を発行
平成 7 年 9 月 17 日	福岡県立美術館開館 10 周年記念巡回展「移動美術館－郷土美術のパイオニアたち」を開催
平成 7 年 11 月 11 日	福岡県立美術館開館 10 周年記念展「郷土美術名鑑－美のパイオニアたち」を開催
平成 8 年 3 月 31 日	『福岡県立美術館所蔵品目録』を発行
平成 9 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 59 号）改正し、展示室の観覧料、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 9 年 10 月 9 日	九州北部三県文化交流展 生誕 100 年記念「中村琢二展」開催
平成 11 年 3 月 18 日	『福岡県展史 1940－1994』を発行
平成 14 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例施行規則」（福岡県規則第 6 号）を改正し、展示室の観覧料の高校生以下について全土曜日を無料に改正
平成 15 年 8 月 4 日	国の緊急地域雇用創出特別基金事業に基づく「福岡県立美術館所蔵品デジタル化・巡回展示会事業」に着手
平成 17 年 3 月 20 日	福岡県西方沖地震により、施設設備及び美術品の一部損壊
平成 17 年 11 月 12 日	第 18 回全国健康福祉祭ふくおか大会ねんりんピックふくおか 2005 美術展開催
平成 17 年 11 月 12 日	常陸宮・常陸宮妃両殿下美術展開会式御臨席
平成 19 年 3 月 23 日	～ 平成 20 年 8 月 28 日
	福岡県立美術館将来構想検討委員会開催（第 1 回～第 5 回）
平成 19 年 9 月～12 月	財団法人 地域創造の助成により平成 19 年度公立美術館活性化事業「北部福岡アート・トライアングル」を県立美術館、春日市ふれあいセンター、甘木歴史資料館で実施
平成 20 年 8 月	福岡県立美術館将来構想検討委員会の報告「新しい福岡県立美術館のあり方について」公表
平成 21 年度	福岡県教職員互助会との共催により、スクール・アートバス事業開始
平成 23 年度	福岡市のミュージアム 3 館（福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館）が連携して開催してきた「福岡ミュージアムウィーク」に新たに参加
平成 23 年 9 月	県立美術館入館者 500 万人達成
平成 24 年度	福岡県教職員互助会、福岡県青少年科学館との共催により、スクール・アートバス事業の後継事業としてアート・サイエンスの 2 つのコースを設けたスクール・ミュージアムバス事業開始
平成 24 年 4 月 1 日	博物館法等改正に伴い、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」及び「福岡県立美術館協議会規則」を改正し、協議会委員の任命基準等を追加
平成 25 年度	スクール・ミュージアムバス事業をスクール・ミュージアム事業に改称
平成 25 年度	福岡市内のミュージアムが連携して情報発信活動を行う「ふくおかミュージアム連絡会議」に参加
平成 26 年 1 月 5 日	建物の耐震基準をクリアするため、耐震工事を実施するとともに臨時休館（～8 月 31 日）
平成 26 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 7 号）改正し、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 26 年 10 月 4 日	福岡県文化会館建設 50 年記念「とととと？ きおく×キロク＝」展開催
平成 26 年 11 月 29 日	～ 平成 28 年 5 月 8 日
	福岡県立美術館開館 30 周年記念 コレクション展連続企画 2014-15 開催（第 1 弾～第 4 弾）
平成 27 年 11 月 15 日	～ 平成 29 年 3 月 5 日
	福岡県立美術館基本構想検討委員会開催（第 1 回～第 5 回）

平成 27 年 12 月 4 日	福岡県立美術館開館 30 周年記念「没後 40 年 高島野十郎展」開催
平成 28 年 2 月 15 日	空調設備改修工事のため臨時休館（～3 月 28 日）
平成 28 年 3 月	『福岡県立美術館コレクション・アルバム 1964-2014』を発行
平成 29 年 3 月	福岡県立美術館基本構想検討委員会報告
令和 元年 10 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 7 号）改正し、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
令和 元年 10 月 23 日	新・福岡県立美術館建設地選定委員会開催
令和 2 年 1 月 16 日	同委員会報告
令和 2 年 1 月 27 日	同委員会報告を受け、新・福岡県立美術館の建設地（大濠公園内）決定
令和 2 年 2 月 28 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5 月 18 日）
令和 2 年 7 月 20 日	第 1 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 2 年 11 月 13 日	第 2 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 2 月 21 日	第 3 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 3 月 29 日	「どこでもケンピ」（福岡県立バーチャル美術館・edukenbi えでゅけんぴ）開設
令和 3 年 5 月 12 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5 月 14 日） （5 月 15 日～6 月 20 日は部分開館）
令和 3 年 5 月 29 日	第 4 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 8 月 6 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～9 月 6 日） （9 月 7 日～9 月 12 日は部分開館）
令和 3 年 8 月 29 日	第 5 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 11 月 11 日	第 6 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 11 月 30 日	「新福岡県立美術館基本計画」策定
令和 4 年 11 月 28 日	「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」一次審査開催
令和 5 年 1 月 21 日	「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」二次審査開催 株式会社 隈研吾建築都市設計事務所が設計者に決定
令和 5 年 2 月 28 日	熱源改修工事のため臨時休館（～6 月 4 日）
令和 5 年 3 月 20 日	新福岡県立美術館基本設計費が 2 月県議会にて議決
令和 5 年 12 月 26 日	エレベーター改修工事のため臨時休館（～3 月 31 日）
令和 6 年 12 月 22 日	福岡県立美術館駐車場運用終了
令和 7 年 3 月 28 日	須崎公園有料駐車場（旧福岡県立美術館駐車場）福岡市による運用開始

令和7年度 展覧会事業一覧

◆コレクション展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
コレクション展Ⅰ 「フワクのミワク、こっそりカンレキ！ -福岡県立美術館開館40周年&福岡県 文化会館開館60周年」	7. 6. 28～ 7. 8. 29 (54 日間)	福岡県立美術館	2,211
コレクション展Ⅱ 「福岡県美のたからもの vol.1」	8. 3. 17～ 8. 5. 24 (58 日間)	福岡県立美術館	421 (R8.3.31まで)

◆企画展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
みんなの画材ー山本文房堂の的野さん は、野見山暁治さんとともにこの街を励 まし続けた	8. 1. 20～ 8. 3. 8 (42 日間)	福岡県立美術館	2,956

◆共催展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
鬼塚勝也 ファイティングアート展	7. 4. 19～ 7. 5. 25 (32 日間)	鬼塚勝也 ファイティン グアート展実行委員会	6,164
第80回福岡県美術展覧会(県展)	7. 9. 2～ 7. 11. 24 (50 日間) ※巡回展含む	福岡県美術展覧会 実行委員会	11,368
福岡県立美術館開館40周年記念 「没後50年 高島野十郎展」	7. 10. 11～ 7. 12. 14 (56 日間)	福岡県立美術館開館40 周年記念「没後50年高島 野十郎展」実行委員会	20,298
令和7年度 福岡県立美術館所蔵品巡回展 移動美術館展 ～洋館と時を紡ぐアート～	8. 1. 24～ 8. 3. 1 (32 日間) (大川市:清力美術館にて開催)	令和7年度 福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」実行委員会	1,859

令和7年度 月別入館者数一覧

月	常設展	企画展	共催展	貸館展	移動展 (大川市)	イベント 講演会等	小 計	美 術 図書室	ビデオ ブース	ハイビジョン ギャラリー	カフェ テラス	小 計	合 計
4	378		1,458	3,589		521	5,946	208	31	264	573	1,076	7,022
5			4,706	1,004		545	6,255	251	54	312	480	1,097	7,352
6	133			5,108		90	5,331	237	75	306	524	1,142	6,473
7	1,082			4,016		235	5,333	309	64	288	566	1,227	6,560
8	996					16	1,012	235	48	138	268	689	1,701
9			7,419			1,270	8,689	366	117	618	656	1,757	10,446
10			5,140	3,165		520	8,825	405	213	372	631	1,621	10,446
11			8,485	1,479		472	10,436	479	358	372	1,015	2,224	12,660
12			6,673	3,267		191	10,131	454	357	534	724	2,069	12,200
1		772		5,657	399	227	7,055	278	84	234	294	890	7,945
2		1,405		6,424	1,280	68	9,177	313	78	252	567	1,210	10,387
3	421	779		4,630	180	106	6,116	317	84	258	535	1,194	7,310
計	3,010	2,956	33,881	38,339	1,859	4,261	84,306	3,852	1,563	3,948	6,833	16,196	100,502

コレクション展Ⅰ「フワクのミワク、こっそりカンレキ！」

—福岡県立美術館開館 40 周年&福岡県文化会館開館 60 周年—

◆会 期：令和 7 年 6 月 28 日（土）～ 8 月 29 日（金） 54 日間

◆休 館：月曜日（ただし、7/21（月・祝）、8/11（月・祝）は開館、7/22（火）、8/12（火）は休館）

※会期中展示替えあり

前期：6 月 28 日（土）～ 7 月 27 日（日）／後期：7 月 29 日（火）～ 8 月 29 日（金）

◆会 場：4 階展示室

◆入場料：一般 210（170）円、高大生 140（110）円、小中生 60（50）円

＊（ ）内は 20 名以上の団体割引料金

＊以下の方々を無料とした。

65 歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する高校生以下の方及びその引率者、土曜日来館の高校生以下の方

◆入場者数：2,211 人

◆展覧会概要：

令和 6 年に福岡県文化会館の開館から 60 年、令和 7 年に福岡県立美術館の開館から 40 年の節目を迎えたことを祝して、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期と中止を余儀なくされた令和 3 年開催の大企画展（「1964—福岡県文化会館、誕生。」）を元に、当館のコレクションや資料から、これまでの当館の展覧会を振り返る展示を行った。

＊主な出品作家：宇治山哲平、高島野十郎、野見山暁治、豊福知徳、菊畑茂久馬ほか

◆関連事業：

・ギャラリートーク

6/28（土）、7/12（土）、7/23（水）、8/6（水） いずれも 14 時から 30 分程度

計 4 回、参加者計 25 名

・建物トーク

7/19（土）、8/20（水） いずれも 14 時から 30 分程度

計 2 回、参加者計 20 名

◆作成印刷物：

・展覧会広報用チラシ／出品リスト／出品作家解説

◆記事・広報等：

・連載「新聞美術館」 作者不詳「群牛図」（8/10（日））、尾花成春「百道の海に悲し、宮崎準之助に捧ぐ」（8/24（日））

・福岡県立美術館レター「とつぶらいと」131 号

・Instagram、X（旧 Twitter）による広報

令和7年度コレクション展Ⅰ「フワクのミワク、こっそりカンレキ！ー福岡県立美術館開館40周年＆福岡県文化会館開館60周年」

会期：2025年6月28日（土）～8月29日（金）（前期：～7月27日（日）、後期：7月29日（火）～） 会場：福岡県立美術館 4階展示室

作家	作品名	制作年	特記事項	素材・技法
第1章 こっそりカンレキ！ 1964－福岡県文化会館、誕生。				
1 菊畑茂久馬	ルーレット（ターゲット）	1964年		ミクスト・メディア
2 尾花成春	黄色い風景	1959年		尾花基氏寄贈 油彩、アスファルト、廃材、他・板
3 尾花成春	百道の海に悲し、宮崎準之助に捧ぐ	1989年		尾花基氏寄贈 油彩・画布
4 池田龍雄	失踪した楕円	1964年	アンデパンダン'64展(東京都美術館)	池田龍雄氏寄贈 油彩・合板
5 島 一行	訥B	1963年	第31回独立展	高島陽子氏寄贈 油彩・板
6 集団蜘蛛	菊畑茂久馬原版にもとづく盗作版画「菊畑茂久馬アルバム集より」(1)	1969年		個人寄贈 リトグラフ、色鉛筆・紙
7 宮崎準之助	木の球による提示(一)坐碑	1966年	個展(ｽﾙｶ' 台画廊、東京)	宮崎麗子氏寄贈 樟
8 豊福知徳	構成Ⅱ	1961年		個人寄贈 木彫
9 野見山暁治	シャルルロア 赤いボタ山	1956年頃		野見山暁治氏寄贈 油彩・画布
10 野見山暁治	蔵王	1966年	第7回現代日本美術展	油彩・画布
11 高島野十郎	冬の田園	1963年		大内田茂士氏寄贈 油彩・画布
12 高島野十郎	晴れゆく山村	1964年頃		大内田茂士氏寄贈 油彩・キャンバスボード
13 江上茂雄	暮れゆく海 【前期】	1964年前後		江上徹氏寄贈 クレパス、水彩・紙
14 江上茂雄	竹林の月 【後期】	1964年前後		江上徹氏寄贈 クレパス・紙
15 江上茂雄	シリーズ「私の手と心の抄」より [1] 【前期】	1960年代		江上徹氏寄贈 クレパス・紙
16 江上茂雄	シリーズ「私の手と心の抄」より [2] 【後期】	1960年代		江上徹氏寄贈 クレパス・紙
17 江上茂雄	シリーズ「私の手と心の抄」より [3] 【前期】	1960年代		江上徹氏寄贈 クレパス、水彩・紙
18 江上茂雄	シリーズ「私の手と心の抄」より [4] 【後期】	1960年代		江上徹氏寄贈 クレパス、水彩・紙
19 山本作兵衛	木枯らし	1964-1966年	1968年炭坑絵巻展	山本作兵衛氏寄贈 水彩・紙
20 片山攝三	坂本繁二郎氏	1963年		片山攝三氏寄贈 モノクローム・プリント
21 片山攝三	山口長男氏	1963年		片山攝三氏寄贈 モノクローム・プリント
22 中村研一	サイゴンの夢	1947年	第3回日展	油彩・画布
23 安永良徳	首B	1932年	第6回構造社展(構造社賞)？、 1961年	ブロンズ
24 豊田勝秋	鑄銅筒型花器	1960年	第3回新日展(「花生(線)」)	鑄銅
25 岡田三郎助	婦人像	1909年		油彩・画布
26 藤島武二	山中湖畔の朝	1916年		油彩・画布
27 山喜多二郎太	残雪	1963年	第4回十柯会展	油彩・画布
28 上田宇三郎	人物 二重像	1946年	第1回西部美術協会公募展（「女」）	上田信子氏寄贈 紙本着色
29 青柳暢夫	黍と女	1941年	第11回独立展	油彩・画布
30 山口長男	宙	1965年	第1回ジャパンアートフェスティバル	油彩・板
31 青柳暢夫	果物籠の静物	1954年	第22回独立展	油彩・画布
32 舟越保武	原の城	1964年	1965年秀作美術展	ブロンズ
33 坂本繁二郎	能面	1955年	1958年坂本繁二郎・鳥海青児二人展	油彩・画布
34 児島善三郎	静物	1949年	第17回独立展	油彩・画布
35 伊藤研之	風景	1976年	第61回二科展	油彩・画布
36 松田諦晶	今宿海岸暮色	1934年	1935年第23回来目洋画展	藤田吉香氏寄贈 油彩・画布
37 富田溪仙	沈竈・容膝	1913年	第7回文展	紙本墨画淡彩
38 二科十朗	タヒチ	1974年	第70回太平洋展	藤緬染木綿
39 鹿児島寿蔵	紙塑人形「志賀島幻想箕立事」	1967年	第3回人間国宝新作展出品	泰光コレクション(中村泰助氏・ 光子氏寄贈) 紙塑、自染和紙
40 早川朝洋	苗運び	1938年	第2回新文展	早川道子氏寄贈 木彫
第2章 フワクのミワク 1985－福岡県立美術館、誕生。				
41 豊福知徳	継続	1973年	1978年個展(北九州市立美術館、「空間」)	ブロンズ
42 豊福知徳	レリーフ	1961年		個人寄贈 木彫
43 野見山暁治	自画像	1947年頃		野見山暁治氏寄贈 油彩・板
44 野見山暁治	自画像	1946年		鉛筆・紙
45 江上茂雄	鎮魂花譜			個人蔵
46 川辺御楯	尹大納言赴比叡山図 【前期】	1888年	第1回内国絵画共進会(1882)銅牌受賞作の再制作	絹本着色
47 川辺御楯	蛭狩之図 【後期】	制作年未詳		絹本着色
48 青山熊治	アイヌ	1913年		堺やす氏寄贈 油彩・板
49 宇治山哲平	やまごころ	1985年		油彩・画布
50 山口睦男	宇治山哲平（画家）	1985年		個人寄贈 インクジェットプリント
51 野見山暁治	今だけの景色	2005年		野見山暁治氏寄贈 油彩・画布
52 児島善三郎	満開	1948年		寄託作品 油彩・画布
53 児島善三郎	箱根	1938年頃		油彩・画布
54 平戸	瑠璃釉獅子形香炉	天保頃	三川内焼	久我家寄贈 磁器
55 村井円吉	仔犬図 【前期】	制作年未詳	原画作者は応挙	尾形家寄贈 紙本墨画
56 小方守興	大根図 【前期】	1673年	原画作者は雪村	尾形家寄贈 紙本墨画
57 作者不詳	野馬図 【前期】	制作年未詳		尾形家寄贈 紙本墨画
58 作者不詳	仔犬図 【後期】	制作年未詳	原画作者は応挙	尾形家寄贈 紙本墨画
59 作者不詳	群牛図 【後期】	制作年未詳		尾形家寄贈 紙本墨画
60 厶田嘉助	布袋図 【後期】	制作年未詳	原画作者は狩野法橋空々	尾形家寄贈 紙本墨画
61 坂本繁二郎	牛 【前期】	1935年頃		個人寄託 墨・紙
62 坂本繁二郎	馬 【後期】	1935年頃		個人寄託 水彩、墨・紙
63 柏崎栄助	ガラス鉢「ゆれる器」	1970-75年	製作:新宮特殊硝子マルティグラス	柏崎たゑ氏寄贈 ガラス（サンドグラス）
64 青木 繁	わだつみのいろこの宮(下絵)	1907年		油彩・板
第3章 ワクワク、ケンピ。 福岡県立美術館の新収蔵作品たち				
65 小林敬生	幻華一春：芽生えー	1992年		蘇馬外二良氏寄贈 木口木版
66 小林敬生	幻華一夏：少女ー	1992年		蘇馬外二良氏寄贈 木口木版
67 小林敬生	幻華一秋に遊ぶー	1992年		蘇馬外二良氏寄贈 木口木版

68	小林敬生	幻華一冬に咲くー	1992年		蘇馬外二良氏寄贈	木口木版
69	小林敬生	蘇生の刻一朝へー	1991年		蘇馬外二良氏寄贈	木口木版
70	板谷 房	少女とバラ	1968年		松岡博氏寄贈	油彩・画布
71	板谷 房	牛 【前期】	1957年		個人寄贈	紙本墨画
72	大田 歳	阿蘇牧場 【後期】	1958年		個人寄贈	紙本着彩
73	赤星 孝	シャルトルの寺	1962年頃		個人寄贈	油彩・画布
74	赤星 孝	磔刑図			個人寄贈	油彩・画布
75	釜我敏子	型絵染着物「みやこわすれとかたばみ文」 【前期】	1992年	第27回西部伝統工芸展（正会員賞）	釜我敏子氏寄贈	麻地型染
76	釜我敏子	型絵染着物「合歓」 【前期】	1985年	第22回日本伝統工芸染織展（日本工芸会賞）	釜我敏子氏寄贈	絹地型染
77	釜我敏子	型絵染着物「からす麦」 【後期】	1979年	第26回日本伝統工芸展	釜我敏子氏寄贈	絹地型染
78	釜我敏子	藍染着物「ぶらしのき」 【後期】	1997年	第32回西部伝統工芸展	釜我敏子氏寄贈	絹地藍染
79	三輪壽雪（十一代休雪）	白萩窯変角花入	1967年		平野公憲氏寄贈	陶器
80	三輪壽雪（十一代休雪）	白萩グイノミ	2011年以前		平野公憲氏寄贈	陶器
81	井上萬二	青白磁水滴	1987年以前		平野公憲氏寄贈	磁器
82	十三代今泉今右衛門	色絵薄墨唐草文額皿	1993年以前		平野公憲氏寄贈	磁器
83	十三代今泉今右衛門	色鍋島牡丹絵花瓶	2000年		平野公憲氏寄贈	磁器
84	十三代今泉今右衛門	色鍋島野菜絵額皿	制作年未詳		平野公憲氏寄贈	磁器
85	十三代今泉今右衛門	色絵薄墨草花文花瓶	制作年未詳		平野公憲氏寄贈	磁器
86	十四代今泉今右衛門	色絵墨彩墨はじき草花文置物	2007年		平野公憲氏寄贈	磁器
87	鈴田滋人	木版摺更紗掛袱紗「彩映」	2011年		平野公憲氏寄贈	木版摺更紗
88	須藤雅路	草花文耳付壺	1973年		須藤駿氏・サチ子氏寄贈	陶器
89	須藤雅路	草花文耳付広口壺	1973年頃		須藤駿氏・サチ子氏寄贈	陶器
90	須藤雅路	花のデザイン 1	制作年未詳		須藤駿氏・サチ子氏寄贈	油彩・画布
91	須藤雅路	鳥のデザイン	制作年未詳		須藤駿氏・サチ子氏寄贈	油彩・画布
92	築城則子	小倉縞木綿帯「弥生奔流」	2021年	第55回西部伝統工芸展		木綿
93	築城則子	小倉縞木綿帯「宵瀑」	2023年	第70回日本伝統工芸展		木綿
94	築城則子	小倉縞木綿帯「地弾く」	2023年	第57回日本伝統工芸染織展		木綿
95	牛島智子	旅する青二才	2003-2008年	「旅する青二才」（2008年、アートリエ）出品作		油彩・画布（パネル貼）

※番号は展示順序とは必ずしも一致しません。ご了承ください。

コレクション展Ⅱ「福岡県美のたからもの vol. 1」

◆会 期：令和8年3月17日(火)～令和8年5月24日(日) 58日間

◆休 館：月曜日

(ただし4月14日(火)～16(木)は展示替えのため休室、5月4日(月・祝)は開館)

※会期中展示替えあり

前期：3月17日(火)～4月12日(日)／後期：4月17日(金)～5月24日(日)

◆会 場：4階展示室

◆入場料：一般 210(170)円、高大生 140(110)円、小中生 60(50)円

＊()内は20名以上の団体割引料金

＊以下の方々を無料とした。

65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する高校生以下の方及びその引率者、土曜日来館の高校生以下の方

◆入場者数：421人(令和8年3月31日までの入場者数)

◆展覧会概要：

2025年に開館40周年を迎えた福岡県立美術館が、長きにわたる美術館活動のなかで育んできた豊かなコレクションを、ジャンルを横断しながら紹介する連続企画の第1回目として開催したものである。本展では、「Ⅰ コレクション・選」、「Ⅱ 歴史を追うまなざし」、「Ⅲ 県美ファッションショー」の3つのテーマを設けて、日本画、洋画、工芸、彫刻などの様々な作品を多彩に紹介した。

＊主な出品作家：児島善三郎、高島野十郎、野見山暁治、川辺御楯、山崎朝雲、上田宇三郎ほか

◆関連事業：

- ・ギャラリートーク 3/28(土) 14時から30分程度 参加者計10名
- 以後も、4/11(土)、4/25(土)、5/9(土)、5/23(土)に開催予定

◆作成印刷物：

- ・展覧会広報用チラシ／出品リスト／出品作家解説

◆記事・広報等：

- ・連載「新聞美術館」 青柳暢夫「果物籠の静物」3/15(日)、上田宇三郎「振袖の女性」3/29(日)
- ・福岡県立美術館レター「とっぷらいと」132号
- ・Instagram、X(旧Twitter)による広報

コレクション展Ⅱ「福岡県美のたからものvol.1」作品リスト

2026年3月17日(火)～5月24日(日)

前期展示／3月17日(火)～4月12日(日) 後期展示／4月17日(金)～5月24日(日)

作者名	作品名	制作年	技法・材質
-----	-----	-----	-------

I 福岡県美のたからもの コレクション・選

青柳暢夫	果物籠の静物	昭和29年(1954)	油彩・画布
赤星 孝	マンドリーヌ	昭和30年(1955)	油彩・画布
赤星信子	赤い構図	昭和49年(1974)	油彩・画布
荒巻大祐	雑草曼陀羅	昭和60年(1985)	紙本着色
板谷 房	春	昭和38年(1963)	油彩・画布
伊藤彰耳	春ふたたび	平成23年(2011)	紙本着色
上田宇三郎	人物 二重像	昭和21年(1946)	紙本着色
大内田茂士	巴里郊外	昭和32年(1957)	油彩・画布
大津英敏	風景画と赤いスカーフの娘	昭和54年(1979)	油彩・画布
児島善三郎	箱根	昭和13年頃(c.1938)	油彩・画布
坂本繁二郎	玩具	昭和24年(1949)	油彩・画布 寄託作品
高島野十郎	花畑	制作年不詳	油彩・画布
田崎廣助	ヨーロッパ風景	昭和8年頃(c.1933)	油彩・画布 寄託作品
多々羅義雄	千葉の晩春	大正10年(1921)	油彩・画布
富永朝堂	雪山の女	大正13年	木彫
豊福知徳	構成	昭和37～48年(1962～1973)	木彫・着色
中村琢二	石廊崎の春	戦後期(after1945)	油彩・画布
野見山暁治	予兆	昭和63年(1988)	油彩・画布
松本英一郎	さくら・うし '96-7	平成8年(1996)	油彩・画布
安永良徳	1956年作品第21	昭和31年(1956)	ブロンズ
山喜多二郎太	はる	昭和37年(1962)	油彩・画布
山崎朝雲	種痘	明治40年(1907)	木彫
山崎秀雄	カメラ・ファン	昭和14年(1939)	木彫・着色 寄託作品
山田栄二	月夜の唄	昭和57年(1982)	油彩・画布 寄託作品
吉田 博	雲表	明治42年(1909)	水彩・紙

II 歴史を追うまなざし

青木 繁	わだつみのいろこの宮(下絵)	明治40年(1907)	油彩・板
ム田嘉助	神功皇后新羅出兵図	寛政5年(1793)	紙本墨画 前期
川辺御楯	神功皇后図	明治22年頃(c.1889)	絹本着色 前期
幸野棹嶺	神功皇后図	明治期	絹本着色 寄託作品 後期
吉村忠夫	松浦川	昭和17年	絹本着色 前期
吉村忠夫	天平美人図	制作年不詳	絹本着色 後期
山崎朝雲	力角之宿禰	大正15年(1926)	木彫(桜)・素地・一部淡彩
川辺御楯	雄略天皇歌女	制作年不詳	絹本着色 前期
川辺御楯	吟名月	制作年不詳	絹本着色 後期
尾形洞霄	勿来関図	江戸時代後期(19thcentury)	絹本着色 前期
川辺御楯	勿来関図	明治7～10年頃(c.1874-77)	絹本着色 前期
川辺御楯	源氏物語 花之宴・伊勢物語 龍田山	制作年不詳	絹本着色 後期
川辺御楯	尹大納言赴比叡山図	明治21年(1888)	絹本着色 前期
川辺御楯	後醍醐天皇還御図	制作年不詳	絹本着色 後期
川辺御楯	楠公迎鳳輦図	明治22年(1889)	絹本着色 後期
邨田丹陵	狩之図	明治31年(1898)	絹本着色 前期
邨田丹陵	大宮人	明治40年(1907)	絹本着色 後期

川辺旭陵美楯	山中鹿介図	制作年不詳	絹本着色	前期
松本豊太	阿新丸	制作年不詳	絹本着色	後期
野中守辰	牡丹唐獅子図	制作年不詳	紙本墨画	前期
小方守義	牡丹唐獅子図	制作年不詳	紙本墨画	後期
川辺御楯	東照公幼年読書図	制作年不詳	絹本着色	前期
富田溪仙	牡丹唐獅子図	制作年不詳	紙本着色	後期

Ⅲ 県美ファッションショー

井上正勝	スケート	昭和35年(1960)	油彩・画布		
井上正勝	練習する人々	昭和27年(1952)	油彩・画布		
上田宇三郎	振袖の女性	昭和5～10年(1930-1935)	紙本着色		
浦志武火子	焚き火	制作年不詳	絹本着色		後期
鹿児島寿蔵	紙塑人形「鹿島の宮の春の宴」	昭和51年(1976)	紙塑、自染和紙		前期
鹿児島寿蔵	紙塑人形「珠裳」	昭和52年(1977)	紙塑、自染和紙		後期
梶原貫五	陽を受ける窓	昭和29年(1954)	油彩・画布		
小島一義	博多人形「東風吹かば」	昭和58年(1983)	陶		
小早川 清	菊見少女	近代	絹本着色	寄託作品	前期
小早川 清	美人図	制作年不詳	紙本着色	寄託作品	前期
小早川 清	風	制作年不詳	絹本着色		後期
柴山光台	聖園童女	昭和24年(1949)	紙本着色		
寺田竹雄	サーカスの人達	平成2年(1990)	油彩・画布		
中村琢二	黄衣	昭和30年(1955)	油彩・画布		
中村琢二	少女	昭和37年(1962)	油彩・画布		
蓮尾辰雄	母子像	昭和50年代(1975-1984)	紙本着色		
藤田吉香	男	平成10年(1998)	油彩・画布	寄託作品	
藤田吉香	女	平成11年(1999)	油彩・画布	寄託作品	
松田諦晶	緑陰高良川女人群	昭和5年(1930)	油彩・画布		
松本豊太	画室の二少女	明治31年(1898)	油彩・画布		
光安浩行	憩	昭和16年(1941)	油彩・画布		
柳瀬正夢	磯邊氏の肖像	大正6年(1917)	油彩・画布		
柳瀬正夢	波止場のI氏	大正11年(1922)	油彩・画布		
山喜多二郎太	農婦たち	制作年不詳	紙本墨画淡彩		前期
山喜多二郎太	野の仕事	制作年不詳	紙本墨画淡彩		後期
山崎朝雲	鳩杖	昭和7年(1932)	木彫(樟)・素地・一部淡彩		
吉村忠夫	模写「葉月物語絵巻」	大正期(1912-25)	紙本着色		
吉村忠夫	月下涼波	制作年不詳	絹本着色		前期
吉村忠夫	東台小景	大正12年(1923)	絹本着色		後期
和田千秋	母親こそ最良の教師	平成6年(1994)	油彩・画布	寄託作品	

みんなの画材——山本文房堂の的野さんは、野見山暁治さんとともにこの街を励まし続けた

◆会 期：令和8年1月20日（火）～令和8年3月8日（日）42日間

前期：1月20日（火）～2月8日（日）／後期：2月10日（火）～3月8日（日）

◆休 館：月曜日（ただし、祝休日の場合はその翌平日）

◆会 場：4階展示室

◆観覧料：一般 800（600）円、高大生 500（300）円、小中生 300（200）円

＊65歳以上の方は一般団体料金

＊（ ）内は20名以上の団体割引料金

＊以下の方々は無料

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者／教職員が引率する小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童・生徒及びその引率者／土曜日来場の高校生以下の方

◆主 催：福岡県立美術館

◆特別協力：株式会社山本文房堂、一般財団法人野見山暁治財団

◆協 力：株式会社戸高鋳業社、株式会社文房堂、忘羊社、ホルベイン株式会社

◆広報印刷物・図録・グラフィック：尾中俊介（カラマリ・インク）

◆入場者数：2,956人

◆展覧会概要：

本展では、福岡市内で額縁画材店の二代目店主を務めた的野恭一（1930-2022）の取組に着目した展覧会である。的野旧蔵の版画を中心とした作品・資料調査を行う中で浮かび上がってきた的野のこの街の美術に対する想い、そしてその想いをともにした画家・野見山暁治（1920-2023）との厚い親交に注目し、2つの取組を軸に紹介した。1973年の野見山の参加を契機に2009年37年間、的野が福岡における紹介を担った東京藝術大学版画研究室「アトリエ C-126 版画展」、そして1989年から2015年まで27年間、的野と野見山が二人三脚で続けたサムホール公募展を、的野と野見山のこの街の美術に対する並々ならぬ想いについて、前後期合わせて約120件の作品・資料で紹介した。

会場では、序章「画家が絵を描くということ 人間の純粋な営為」では、画家・野見山の表現について今一度振り返るとともに二人の関係性を紹介。第一章「山本文房堂の的野さん 額装職人としての気概」、第二章「作品とこの街を繋ぐ 的野の版画コレクション」で東京藝術大学版画研究室「アトリエ C-126」の版画から銅版画カレンダー等の版画の蒐集品、小休止「山本文房堂と福岡」、第三章「野見山もまた この街を想う」、第四章「サムホール公募展 この街の人々を励ますということ」の6つのセクションに分けて紹介した。特に四章の映像「画家と画材店主」（提供：RKB 毎日放送）では的野と野見山の生前の様子を伝えるとともに、野見山の「人の手からしか物は生まれない」という言葉は、多くの人の心に響いた。

本展は、画材店主の知られざる取組に着目することでこの街の美術を広い視野で見つめ直すとともに、美術家のみならず、ひとりひとりがこれからの美術の担い手であることを投げ掛けた展覧会となった。

◆関連事業：

- ・写真についてのワークショップ「みんなの写真」

講師：木原千裕（写真家）

日時：2月14日（土）14:00 から 会場：4階視聴覚室 参加者：6名

- ・油絵具についてのワークショップ①「油絵具をつくろう」

講師：柴田正見（ホルベイン画材株式会社）

日時：2月21日（土）10:00 から 会場：4階視聴覚室 参加者：11名

- ・油絵具についてのワークショップ②「油絵具の溶き油について学ぼう」

講師：柴田正見（ホルベイン画材株式会社）

日時：2月21日（土）14:00 から 会場：4階視聴覚室 参加者：10名

- ・本展覧会についてのレクチャー

講師：岡部るい（本展企画担当）

日時：1月24日（土）14:00 から 会場：4階視聴覚室・4階展示室 参加者：15名

日時：2月28日（土）14:00 から 会場：4階視聴覚室 参加者：30名

◆作成印刷物

図録、B2 ポスター、A4 両面チラシ、当日券、招待券、正面玄関サイン、仮囲い用シートサイン、バナー2種、会場内パネル等

◆記事・報道等

○新聞（展覧会評）

- ・上田真美「[view]名画の魅力引き出す「額縁屋」の妙」朝日新聞（朝刊）、2/15(日)

・川口安子（西日本新聞社）「[文化]野見山さんと野さん 二人三脚で築いた「フレーム」 福岡県立美術館「みんなの画材」展」西日本新聞（朝刊）、3/2(月)、7面

- ・渡辺亮一「[金曜カルチャー]美術的取り組み焦点に 福岡県立美術館で「みんなの画材」展」毎日新聞（朝刊）、2/13(金)、18面

◆その他

- ・本展第4章で映像「画家と画材店主」（提供：RKB 毎日放送）を本映像をループ上映した。

出品作品リスト

令和7年度福岡県立美術館大企画展「みんなの画材——山本文房堂の的野さんは、野見山暁治さんとともにこの街を励まし続けた」

会場 4階展示室

会期 前期展示 令和8（2026）年1月20日（火）から2月8日（日）まで / 後期展示 令和8（2026）年2月10日（火）から3月8日（日）まで

主催 福岡県立美術館

特別協力 株式会社山本文房堂、一般財団法人野見山暁治財団

協力 株式会社戸高鉱業社、株式会社文房堂、忘羊社、ホルベイン株式会社

	作家名	作品名	制作年	技法材質	所蔵元	展示期間
序章	画家が絵を描くこと 人間の純粋な営為					
1	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	水彩、木炭・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	前期
2	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	水彩、木炭・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	前期
3	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	木炭・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	後期
4	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	水彩、鉛筆・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	後期
5	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	油彩・画布	株式会社戸高鉱業社蔵	
6	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	リトグラフ・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	前期
7	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	リトグラフ・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	前期
8	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	リトグラフ・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	前期
9	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	リトグラフ・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	後期
10	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	リトグラフ・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	後期
11	野見山暁治	産声をあげる神野山	2004	リトグラフ・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	後期
12	野見山暁治	戸高鉱業の山	1984	水彩、インク・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	前期
13	野見山暁治	戸高鉱業の山	1984	インク・紙	株式会社戸高鉱業社蔵	後期
14	【資料】「産声をあげる神野山」制作関連資料、2004年3月、現地取材のためのデッサン風景、戸高鉱業社の新鉱山・神野山にて、画像提供：株式会社戸高鉱業社、撮影：同社社員による				株式会社戸高鉱業社蔵	
15	【資料】「産声をあげる神野山」制作関連資料、2004年10月、再訪時、戸高鉱業社の新鉱山・神野山周辺にて、撮影：的野恭一				株式会社山本文房堂蔵	
16	【資料】「産声をあげる神野山」制作関連資料、2004年10月、再訪時、戸高鉱業社の鉱山・胡麻柄山周辺にて、撮影：的野恭一				株式会社山本文房堂蔵	
17	【資料】「産声をあげる神野山」制作関連資料、野見山の現地スケッチ				当館蔵	
第1章 山本文房堂の的野さん 額装職人としての気概						
18	中村琢二	木曽の秋	制作年不詳（戦後期）	油彩・画布	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
19	山田栄二	[無題]	制作年不詳	油彩・画布	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
20	宇治山哲平	王	1969	油彩・画布	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
21	赤星信子	黄と白	制作年不詳	油彩・画布	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
22	野見山暁治	失題	1970	油彩・画布	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
第2章 作品とこの街を繋ぐ 的野の版画コレクション						
23	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （画面上からかつ左優先[以下同様]小野忠重、岸本望／画面中央：原健、四隅：野田哲也／小磯良平、中林忠良／小松崎邦雄、田村文雄／駒井哲郎、清塚紀子）	カレンダー 1971年版	1970	左上から不詳／不詳／銅版・紙／リトグラフ・紙／銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
24	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （小野忠重、清塚紀子、原健、駒井哲郎、中林忠良、田村文雄、原真美）	カレンダー 1972年版	1971	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
25	駒井哲郎	バビヨン（蝶）	1974	アクアチント・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
26	駒井哲郎	岩礁	1972	エッチング・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
27	中林忠良	金子光晴詩集より 大腐爛頌 すべて腐らないものはない	1974	エッチング、ディープエッチング、アクアチント・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
28	中林忠良	転位 '83—地—I	1983	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
29 追加 展示	清塚紀子	G嬢の静物	1974	エッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	後期 * 追加展示
30	原健	STROKES 86-6	1986	リトグラフ・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
31	原健	STROKES 83-17	1983	リトグラフ・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
32	田村文雄	赤い暗闇	1971	リトグラフ・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
33	田村文雄	虚ろな記憶	1976	リトグラフ・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	後期
34	東谷武美	[無題]	1970年代半ば以降	リトグラフ・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
35	東谷武美	春	1970年代半ば以降	リトグラフ・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	後期
36 * 1	馬場章	jungle gym - cloth	1982	エッチング、アクアチント・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
37 * 2	馬場章	from box to box	1980	メゾチント・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
38	馬場章	LANDSCAPE	1980年代	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
39	馬場章	WINDOW	1980年代	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	後期
40	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （野見山暁治、清塚紀子、田村文雄、駒井哲郎、小山松隆、小野忠重、福岡奉彦、小松崎邦雄、中林忠良、原健）	カレンダー 1973年版	1972	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	
41	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （東谷武美、駒井哲郎、中林忠良、小野忠重、庫田毅、吉田勝彦、小松崎邦雄、野見山暁治、田村文雄、原健、小山松隆、福岡奉彦）	カレンダー 1974年版	1973	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
42	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （小野忠重、小山松隆、辰野登恵子、駒井哲郎、野見山暁治、福岡奉彦、中林忠良、田村文雄、原健）	カレンダー 1975年版	1974	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
43	【資料】アトリエC-126版画展（1975年および1976年）会場風景（山本文房堂旧大名社屋、撮影：的野恭一）と同年の展覧会通知（発行：山本文房堂）				株式会社山本文房堂蔵	前期
44	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （東谷武美、福岡奉彦、田村文雄、宇都啓、鎌谷伸一、中林忠良、小野忠重、小山松隆、野田哲也、杉浦安史、杉全直、馬場章、野見山暁治）	カレンダー 1978年版	1977	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
45	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （馬場章、鎌谷伸一、中林忠良、梅津祐司、野田哲也、岡部徳三、田村文雄、朝比奈逸人、東谷武美、野見山暁治、杉全直）	カレンダー 1979年版	1978	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
46	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （田村文雄、中林忠良、杉全直、梅沢和雄、東谷武美、鎌谷伸一、馬場章、梅津祐司、野田哲也、岡部徳三、野見山暁治、丸山浩司）	カレンダー 1980年版	1979	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
47	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （鎌谷伸一、田村文雄、杉全直、山中現、中林忠良、梅沢和雄、野見山暁治、梅津祐司、野田哲也、木村学、岡部徳三、馬場章）	カレンダー 1981年版	1980	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期
48	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （野田哲也、中林忠良、大沼映夫、梅沢和雄、丸山浩司、鎌谷伸一、野見山暁治、梅津祐司、山中現、岡部徳三、梯泰久、山口純寛、田村文雄）	カレンダー 1982年版	1981	銅版・紙	当館蔵（的野恭一旧蔵）	前期

49	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （山中現、野見山暁治、古川流雄、田村文雄、野田哲也、大沼映夫、中林忠良、鎌谷伸一、梅津祐司、丸山浩司、梅沢和雄、三塩英春）	カレンダー 1983年版	1982	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	前期
50	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （左面：大沼映夫、野田哲也、山口純寛、筆塚稔尚、カテリーナ・ドレロ、梅津祐司、原健、丸山浩司） （右面：中林忠良、山中現、松下サトル、渋谷和良、梅沢和雄、田村文雄、野見山暁治、鎌谷伸一）	カレンダー 1984年版	1983	銅版・紙（2点組）	当館蔵（の野恭一旧蔵）	前期
51	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室）	「アトリエC-126版画展」（1984年）のためのポスター	1983	コラージュ・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	前期
52	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （鎌谷伸一、大沼映夫、原健、梅津祐司、野田哲也、山中現、田村文雄、中林忠良、梅沢和雄、山口純寛、野見山暁治、渋谷和良）	カレンダー 1985年版	1984	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	前期
53	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （榎倉康二、梅沢和雄、渋谷和良、山中現、野見山暁治、鎌谷伸一、筆塚稔尚、中林忠良、山口純寛、野田哲也、大沼映夫、原健）	カレンダー 1986年版	1985	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	前期
54	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （大沼映夫、中林忠良、榎倉康二、野田哲也、渋谷和良、山中現、山口純寛、野見山暁治、鎌谷伸一、筆塚稔尚、原健）	カレンダー 1987年版	1986	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	前期
55	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （山口純寛、赤塚祐二、清野泰行、野田哲也、榎倉康二、筆塚稔尚、野見山暁治、渋谷和良、大沼映夫、鎌谷伸一、原健、山中現、島州一、中林忠良）	カレンダー 1988年版	1987	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	前期
56	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （榎倉康二、渋谷和良、清野泰行、赤塚祐二、野田哲也、野見山暁治、島州一、中林忠良、山口純寛、筆塚稔尚、生嶋順理）	カレンダー 1989年版	1988	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	前期
57	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室）	「アトリエC-126版画展」（1985年）のためのポスター	1984	コラージュ・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
58	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （生嶋順理、筆塚稔尚、野田哲也、安藤真司、赤塚祐二、野見山暁治、綿引明浩、渋谷和良、齋藤喜一、清野泰行、島州一、榎倉康二、大沼映夫、中林忠良）	カレンダー 1990年版	1989	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
59	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （安藤真司、加山又造、榎倉康二、島州一、清野泰行、野田哲也、野見山暁治、吉田克朗、赤塚祐二、中林忠良、生嶋順理、大沼映夫、齋藤喜一）	カレンダー 1991年版	1990	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
60	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （[画面上から下]榎倉康二、安藤真司、大沼映夫、清野泰行、加山又造、清水博文、生嶋順理、野田哲也、赤塚祐二、木村希八、中林忠良、野見山暁治、吉田克朗、齋藤喜一）	カレンダー 1992年版	1991	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
61	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （[画面左上から右]榎倉康二、加山又造、安藤真司、野見山暁治、生嶋順理、吉田克朗、大沼映夫、木村希八、松永啓之、野田哲也、齋藤喜一、中林忠良、清水博文）	カレンダー 1993年版	1992	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
62	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （[画面左上から右]齋藤喜一、野見山暁治、榎倉康二、上矢津、加山又造、木村希八、木村義則、吉田克朗、松永啓之、安藤真司、大沼映夫、野田哲也、中林忠良、清水博文）	カレンダー 1994年版	1993	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
63	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （[画面上から左優先]加山又造、星野美智子、上矢津、榎倉康二、安藤真司、野見山暁治、松永啓之、大沼映夫、中林忠良、木村希八、三井田盛一郎、木村義則、野田哲也、清水博文）	カレンダー 1995年版	1994	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
64	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （[画面上からかつ左優先]加山又造、榎倉康二、安藤真司、松永啓之、野見山暁治、野田哲也、上矢津、大沼映夫、三井田盛一郎、中林忠良、佐藤光輝、星野美智子、木村義則）	カレンダー 1996年版	1995	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
65	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （加山又造、佐藤光輝、二村裕子、松永啓之、平垣内清、大沼映夫、三井田盛一郎、星野美智子、上矢津、野見山暁治、木村義則、野田哲也、中林忠良）	カレンダー 1997年版	1996	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
66	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （木村義則、加山又造、佐藤光輝、三井田盛一郎、中林忠良、八木文子、大沼映夫、二村裕子、野見山暁治、野田哲也、星野美智子、平垣内清）	カレンダー 1998年版	1997	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
67	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （平垣内清、加山又造、星野美智子、大沼映夫、佐藤光輝、野田哲也、野見山暁治、東谷武美、二村裕子、八木文子、中林忠良、金兌赫）	カレンダー 1999年版	1998	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
68	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （加山又造、佐藤光輝、八木文子、大沼映夫、高崎賀朗、二村裕子、東谷武美、野見山暁治、金兌赫、平垣内清、野田哲也、中林忠良）	カレンダー 2000年版	1999	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
69	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （大沼映夫、八木文子、平佳史、高崎賀朗、加山又造、山口純寛、二村裕子、東谷武美、野見山暁治、中林忠良、金兌赫、野田哲也）	カレンダー 2001年版	2000	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
70	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （平佳史、加山又造、金兌赫、山口純寛、中林忠良、八木文子、松田修、中西夏之、高崎賀朗、野見山暁治、野田哲也、東谷武美）	カレンダー 2002年版	2001	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
71	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （野見山暁治、加山又造、中西夏之、中林忠良、野田哲也、山口純寛、金兌赫、高崎賀朗、平佳史、森田力、松田修）	カレンダー 2003年版	2002	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
72	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （奈良美智、武田律子、平佳史、山口純寛、中林忠良、高崎賀朗、松田修、野見山暁治、野田哲也、絹谷幸二、森田力）	カレンダー 2004年版	2003	銅版・紙	個人蔵（野見山暁治旧蔵）	後期
73	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （武田律子、森田力、平佳史、山口純寛、絹谷幸二、中林忠良、元田久治、野田哲也、松田修、天野純治、野見山暁治）	カレンダー 2005年版	2004	銅版・紙	個人蔵（野見山暁治旧蔵）	後期

74	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （武田律子、天野純治、安藤真司、中林忠良、絹谷幸二、元田久治、池田俊彦、野田哲也、松田修、森田力、東谷武美、野見山暁治）	カレンダー 2006年版	2005	銅版・紙	個人蔵（野見山暁治旧蔵）	後期
75	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （武田律子、元田久治、森田力、天野純治、池田俊彦、瀧将仁、安藤真司、野田哲也、中林忠良、東谷武美）	カレンダー 2007年版	2006	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
76	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （武田律子、森田力、瀧将仁、三井田盛一郎、東樋口徹、天野純治、元田久治、安藤真司、中林忠良、池田俊彦、野田哲也、東谷武美、野見山暁治）	カレンダー 2008年版	2007	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	後期
77	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （中林忠良、三井田盛一郎、武田律子、元田久治、北爪潤、池田俊彦、瀧将仁、天野純治、森田力、野田哲也、東樋口徹、安藤真司、野見山暁治、東谷武美）	カレンダー 2009年版	2008	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
78	松永啓之	〔無題〕（アトリエC-126カレンダー 1993年版より）	1992	銅版・紙	個人蔵	
79	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室）	「アトリエC-126 30周年記念版画集」より	1997	Various	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
80 ＊ 3	アトリエC-126（東京藝術大学版画研究室） （鎌谷伸一、辰野登恵子、小野忠重、田村文雄、小山松隆、福岡奉彦、駒井哲郎、中林忠良、、野見山暁治、田村文雄）	カレンダー 1976年版	1975	シルクスクリーン・紙／木版・紙／銅版・紙／リトグラフ・紙	駒井亜里蔵（駒井哲郎旧蔵）	
81	長谷川潔	木と月	1954	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
82	岡本省吾	雪枝	1978	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
83	木村茂	冬木立	制作年不詳	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
84	浜田知明	壁	1961	エッチング、アクアチント・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
85	秀島由己男	霊歌〈泣いている太郎〉	1974	メゾチント・紙、雁皮紙貼	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
86	川原田徹	塔	1980	銅版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
87	柄澤齊	迷宮浮上	1977	木口木版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
88	坂本繁二郎	りんご図	制作年不詳	木版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
89	関野準一郎	長崎孔子廟	1975	木版・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
90	小川幸一	赤い球体 No.4"-B	1989	シルクスクリーン・紙	株式会社山本文房堂蔵（の野恭一旧蔵）	
小休止 山本文房堂と福岡						
91	【資料】文房堂福岡支店開業案内状 坂本繁二郎宛、1932				株式会社山本文房堂蔵	
92	坂本繁二郎	馬	制作年不詳	鉛筆・紙	当館蔵（の野恭一旧蔵）	
93	【資料】『文房堂福岡支店開設記念 九州出身 現代洋画大家小照』（発行：文房堂福岡支店、1932）				株式会社山本文房堂蔵	
94	【資料】[本書にタイトルや奥付はないが、1930年12月に文房堂（東京・神田神保町）本店で開催され、岡田三郎助、藤島武二らが出品した展覧会「油画大展覧会」を記念し発行されたものと考えられている。本書には文房堂が製造・販売した国産油絵具に関する99名の大家の使用感想文が集録され、当時の洋画家たちが高品質な国産油絵具をいかに待ち望んでいたのかについて読み取ることができる。]				株式会社山本文房堂蔵	
95	【資料】『復刻 現代洋画大家小照』（協力：株式会社文房堂、発行：株式会社山本文房堂、2018、発行人：的野恭一）[本書は、no.99の資料を元に復刻された。]					
96	【資料】生原稿 野見山暁治「ぼくと油絵具」（『絵描きと画材屋 洋画家・野見山暁治と山本文房堂・的野恭一の五十年』（聞き手：井口幸久、発行：忘羊社、2016）に掲載）				株式会社山本文房堂蔵	
97	【資料】『絵描きと画材屋 洋画家・野見山暁治と山本文房堂・的野恭一の五十年』（聞き手：井口幸久、発行：忘羊社、2016）とその関連資料				忘羊社蔵	
98	【資料】スケッチブック（山本文房堂が創業70年、75年、90年の年に発行したもの） 表紙画：野見山暁治				当館蔵	
99	野見山暁治	山本文房堂90年 スケッチブック原画とその関連資料	2022	水彩、フェルトペン、オイルスティック・紙	株式会社山本文房堂蔵	
100	【資料】葉書				株式会社山本文房堂蔵	
第3章 野見山もまた この街を想う						
101	野見山暁治	絶筆	2023	油彩・画布	当館蔵	
102	野見山暁治	〔デッサン 糸島アトリエ〕	1976年以降	鉛筆・紙	当館蔵	
103	野見山暁治	〔無題（姫島）〕	2000年前後	コラージュ・紙	当館蔵	
104	【資料】書籍『絵描きと画材屋』のための関連写真、糸島アトリエのバルコニーから望む姫島、2015、撮影：木原千裕、画像提供：忘羊社					
第4章 サムホール公募展 この街の人々を励ますということ						
105	【資料】第1回サムホール公募展の選后感、テキスト：野見山暁治				株式会社山本文房堂蔵	
106	【資料】サムホール関連資料				株式会社山本文房堂蔵	
107	鶴瀬幸子	五・三	第1回最優秀作品（1989）		株式会社山本文房堂蔵	
108	平川みどり	鶏頭	第2回最優秀作品（1990）		株式会社山本文房堂蔵	
109	山崎貴衛	三人の性格	第3回最優秀作品（1991）		株式会社山本文房堂蔵	
110	中村俊雅	坂道 I	第4回最優秀作品（1992）		株式会社山本文房堂蔵	
111	齋藤岩男	鷹取山 C	第5回最優秀作品（1993）		株式会社山本文房堂蔵	
112	具志川久子	花の咲く頃	第6回最優秀作品（1994）		株式会社山本文房堂蔵	
113	片淵敬徳	Y. -PRAYER- N9	第7回最優秀作品（1995）		株式会社山本文房堂蔵	
114	古川久美子	猫ダンス	第8回最優秀作品（1996）		株式会社山本文房堂蔵	
115	大久保忠春	景 五月へ III	第9回最優秀作品（1997）		株式会社山本文房堂蔵	
116	窪田正博	胚	第10回最優秀作品（1998）		株式会社山本文房堂蔵	
117	小山真也	フリージア	第11回最優秀作品（1999）		株式会社山本文房堂蔵	
118	【資料】サムホール公募展関連写真、1989-2015、撮影：的野恭一				株式会社山本文房堂蔵	
119	尾崎壽一	雑木林	第12回最優秀作品（2000）		株式会社山本文房堂蔵	
120	山口保	HANA II	第13回最優秀作品（2001）		株式会社山本文房堂蔵	
121	古川広憲	WET HARVEST	第14回最優秀作品（2002）		株式会社山本文房堂蔵	
122	宮崎禮子	華	第15回最優秀作品（2003）		株式会社山本文房堂蔵	
123	西郷恭子	クロイツェルのチョウ 5th	第16回最優秀作品（2004）		株式会社山本文房堂蔵	
124	安部美智子	pesce rosso	第17回最優秀作品（2005）		株式会社山本文房堂蔵	
125	村田泰子	麗しのカピバラ	第18回最優秀作品（2006）		株式会社山本文房堂蔵	
126	平山みち子	a chicken II	第19回最優秀作品（2007）		株式会社山本文房堂蔵	
127	水口政夫	波・風の予感	第20回最優秀作品（2008）		株式会社山本文房堂蔵	
128	塘岡航	プヒ プヒ プヒ プヒ	第21回最優秀作品（2009）		株式会社山本文房堂蔵	
129	千々和きわ	道—C	第22回最優秀作品（2010）		株式会社山本文房堂蔵	
130	小野由紀子	絆	第23回最優秀作品（2011）		株式会社山本文房堂蔵	
131	松永吉展	横たわる芋	第24回最優秀作品（2012）		株式会社山本文房堂蔵	
132	高橋みや子	花心 II	第25回最優秀作品（2013）		株式会社山本文房堂蔵	
133	穴戸義徳	不安、21世紀もまた	第26回最優秀作品（2014）		株式会社山本文房堂蔵	
134	伊藤忠雄	里山風景	第27回最優秀作品（2015）		株式会社山本文房堂蔵	
135	【映像】「画家と画材店主、最後のサムホール公募展（2015年）」提供：RKB毎日放送、編集年：2025年				提供：RKB毎日放送	
136	【資料】第27回サムホール公募展関連写真 審査風景、旧大名社屋・山本文房堂3階、2015、撮影：酒井咲帆、画像提供：忘羊社					
137	【資料】第27回サムホール公募展記念品「アトリエより姫島を望む」、画：野見山暁治、2015、オフセット印刷・紙				株式会社山本文房堂蔵	
138	【資料】書籍『絵描きと画材屋』のための関連写真、糸島アトリエ、2015、撮影：木原千裕、画像提供：忘羊社					

* 1、 2 出品番号36、37は、馬場章氏の作品であるが、前期では清塚紀子作品として誤って展示していた。本件は2月12日に判明し、訂正キャプションを掲示し馬場章作品である旨掲出し、翌13日から清塚紀子作品（出品番号29）を追加展示した。これらは担当者の調査不足によるものでありここに訂正し深くお詫び申し上げます。

* 3 ただし展示作品は、前期・後期展示の本展出品カレンダー掲載作家と摺師に限定し、展示替えを行った。

鬼塚勝也 ファイティングアート展

- ◆ 主 催 鬼塚勝也 ファイティングアート展実行委員会
(福岡県立美術館、テレビ西日本、西日本新聞社)
- ◆ 後 援 福岡県、福岡市、北九州市、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会、
福岡県小学校図画工作教育研究会、福岡県中学校美術教育研究会、
福岡県高等学校芸術・文化連盟、福岡文化連盟、豊国学園高等学校
- ◆ 会 期 令和7年4月19日(土)～5月25日(日) 32日間
月曜休館(ただし5月5日(月祝)は開館、5月7日(水)は休館)
午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)
- ◆ 会 場 1階展示室、3階展示室1～4号室
- ◆ 入 場 料 一 般 1,200円 (1,000円)
高大生 800円 (600円)
小中生以下 無料
※ 上記()内は前売料金・20名以上の団体料金
※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名、特定疾患医療受給者証・特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方は無料
- ◆ 入場者数 6,164人
- ◆ 開催趣旨
元ボクシング世界王者として知られる鬼塚勝也は1970年福岡県北九州市で生まれた。中学時代からボクシングジムに通い、高校在学中にプロテストに合格。WBA世界スーパーフライ級王者として5度の防衛に成功した。1994年に引退し、現在はボクシングジムを運営しながら画家として活躍している。「リング上のキャンパスからアートのキャンパスへ」世界の頂点で戦ってきたボクシングチャンピオンがリングを降りて挑んだアートの世界をドローイング作品を中心に紹介した。
- ◆ イベント等
 - 開会式・内覧会
 - ① 日 時：令和7年4月18日(金)16:00～
 - ② 会 場：福岡県立美術館 1階展示室、3階展示室
 - ③ 参加者：開会式133名、内覧会145名(マスコミ、招待者)
 - トークイベント「片岡鶴太郎×鬼塚勝也」
 - ① 日 時：令和7年4月19日(土)14:00～15:00
 - ② 会 場：福岡市民ホール・小ホール
 - ③ 出 演：片岡 鶴太郎、鬼塚 勝也
 - ④ 司 会：山口喜久一郎(TNCアナウンサー)
 - ⑤ 参加費：無料(要申込、要入場券)
 - ⑥ 参加者：130名

●ワークショップ「鬼塚勝也ファイティングアート落書き大会」

- ① 日 時：(1)令和7年4月26日（土）第1部 10：30～11：30／第2部 13：30～14：30
(2)令和7年5月10日（土）第1部 10：30～11：30／第2部 13：30～14：30
- ② 会 場：福岡県立美術館 1階彫刻展示室
- ③ 講 師：鬼塚 勝也
- ④ 参加費：無料（要申込、要入場券）
- ⑤ 参加者：(1)93名 (2)141名

●アクロス・ミュージックキャラバン in 県美

- ① 日 時：令和7年5月11日（日）第1部：13：30～14：00／第2部：15：00～15：30
- ② 会 場：福岡県立美術館 2階ロビー
- ③ 演 者：〈マリンバ〉山口 大輔、〈ピアノ〉山路 麻佳
- ④ 参加費：無料（申込不要）
- ⑤ 参加者：計153名

●「鬼塚勝也×ライブドローイング」

- ① 日 時：(1)令和7年5月24日（土）13：00～
(2)令和7年5月25日（日）13：00～
- ② 会 場：福岡県立美術館 3階展示室（4号室）
- ③ 講 師：鬼塚 勝也
- ④ 参加費：無料（申込不要、当日入場者に限る）
- ⑤ 参加者：(1)222名 (2)251名

● その他

- 1 知事表敬訪問
日 時：令和7年4月3日（木）13：00
場 所：県庁8階 特別会議室
- 2 知事鼎談
日 時：令和7年4月30日（水）14：00～
場 所：県庁8階 知事応接室
出席者：服部 誠太郎（福岡県知事）
堀 秀充（YKK AP（株）代表取締役会長）
鬼塚 勝也

◆主要広報実績

- ・TNCテレビスポットCM
- ・TNCテレビ「記者のチカラ」、「福岡 NEWS ファイル CUBE」、「FNN Live News days」、
「FNN Live News イット!」、「ミライへの1minute」、「ももち浜ストア」、「てんじん NOW」
「おはよう TNC」、「ミニマニアワー」
- ・NHKテレビ「はっけんTV」
- ・NHKラジオ「はっけんラジオ」
- ・西日本新聞紙面広告・記事
- ・読売新聞紙面広告・記事（知事鼎談）
- ・毎日新聞紙面広告・記事
- ・TNCホームページ
- ・県立美術館ホームページ

第80回福岡県美術展覧会（県展）

◆主 催：福岡県美術展覧会実行委員会（福岡県立美術館、公益社団法人福岡県美術協会、西日本新聞社）

◆後 援：福岡市、福岡市教育委員会ほか

◆協 賛：株式会社岩田屋三越、ASOポップカルチャー専門学校、久原本家グループほか

◆会場・会期

県 展（福岡県立美術館） 令和7年9月2日（火）～9月28日（日） 24日間

<巡回展>

筑後展（大牟田文化会館） 10月19日（日）～10月25日（土） 6日間

筑豊展（嘉麻市立織田廣喜美術館） 10月29日（水）～11月16日（日） 15日間

北九州展（北九州市立美術館） 11月20日（木）～11月24日（月・振） 5日間

◆入 場 料：一 般 400円

（県展） 高大生 200円

中学生以下 無料

◆入場者数：7,419人（県展）、3,949人（巡回展）

◆開催趣旨

県民から広く作品を募集し、その優れた成果を展示することで、創造意欲を高め、美術を通じた豊かな生き方を支援する。あわせて、福岡県美術協会会員の作品を展示し、福岡県における美術活動のより一層の充実を目指す。

◆審 査 員

日 本 画／倉島 重友、稲貝 頼子、奥苑 和司、田中 宗舟、峰松 由布子

洋 画／吉武 研司、川副 了造、田浦 哲也、原田 靖雄、牟田 志津子

彫 刻／藤田 英樹、小田部 黄太、田中 美貴、寺本 幸弥、山本 隆明

工 芸／猪熊 兼樹、今泉 今右衛門、高司 晃、直野 由利子、中村 信喬、能隅 厚生

書 画／谷口 邦彦、名児耶 明、韓 天雍、井上 泰三、中山 不動、益尾 天嶽、秋元 正成、

桑野 愛美、中島 繡苑

写 真／安珠（Anju）、植松 佳春、西村 美代子、福島 秀和

デザイン／澁谷 克彦、市丸 美波子、田中 喜久子、中村 美香、増本 大二郎

◆図 録

A4版80頁

<内容> 図版

出品目録（公募の部、会員の部）

選後感

出品数・入選数一覧（公募の部）

◆関連事業

<合評会>

県展各会期最終日に、県美術協会審査員による部門ごとの合評会を実施。

<表彰式>

9月28日（日）福岡リーセントホテル 2階 舞鶴の間

◆関連記事

<入選・入賞掲載記事>

西日本新聞、毎日新聞

<県展開幕>

西日本新聞社

◆事業の概要

県展会期：令和7年9月2日（火）～9月28日（日）〔24日間〕

会 期	開 催 期 間	部 門	入 場 者 数		
			総 数	有 料	無 料
1 期	9月 2日～ 9月 7日	彫刻・写真	1,554	585	969
2 期	9月 9日～ 9月15日	日本画・工芸・デザイン	1,791	844	947
3 期	9月17日～ 9月21日	洋画	2,094	950	1,144
4 期	9月23日～ 9月28日	書	1,980	692	1,288
合 計			7,419	3,071	4,348

県展出品数・展示数

公 募 の 部			
部 門	出 品 数	出品者数	展 示 数
日 本 画	6 3	5 9	5 0
洋 画	4 3 2	3 4 6	2 1 3
彫 刻	3 8	3 7	2 6
工 芸	1 4 0	1 2 3	9 7
書	漢 字	-	3 0 9
	か な	-	1 3 9
	て ん 刻	-	2 5
	調 和 体	-	4 4
	小 計	7 9 4	5 1 7
写 真	6 1 6	4 2 8	2 7 5
デ ザ イン	2 1 8	2 1 1	1 2 1
合 計	2, 3 0 1	1, 9 4 6	1, 2 9 9

会 員 の 部
出 品 数
4 9
1 5 4
3 4
3 7
2 0 2
7 5
1 9
5 7 0

福岡県立美術館開館 40 周年記念「没後 50 年 高島野十郎展」

- ◆ 主 催 福岡県立美術館開館 40 周年記念「没後 50 年 高島野十郎展」実行委員会
(福岡県立美術館、毎日新聞社)
- ◆ 後 援 福岡県、福岡市、北九州市、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会、
(公財)福岡市文化芸術振興財団、九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、
毎日メディアサービス・サンデー新聞
- ◆ 会 期 令和 7 年 10 月 11 日 (土) ～ 12 月 14 日 (日) 56 日間
月曜休館 (ただし 10/13、11/3、11/24 は開館、10/14、11/4、11/25 は休館)
午前 10 時～午後 6 時 (入場は午後 5 時 30 分まで)
- ◆ 会 場 4 階展示室・3 階展示室 (1～4 号)
- ◆ 入 場 料 一 般 1,600 円 (1,400 円)
高大生 1,000 円 (800 円)
小中生 600 円 (400 円)
※ 上記 () 内は前売料金・20 名以上の団体料金
※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護
者 1 名、特定疾患医療受給者証・特定医療費 (指定難病) 受給者証の交付を受けている方
は無料
- ◆ 入場者数 20,298 人
- ◆ 開催趣旨
高島野十郎 (1890–1975) は福岡県久留米市出身の洋画家。「蠟燭」や「月」という特異な主題を独特の
写実的筆致で描いた画家として、近年では全国的にもよく知られる存在となった。当館では、約 40 年
にわたって野十郎の調査研究を進め、節目の年に展覧会を開催してきたが、今回の没後 50 年展はその
最大の節目を飾る大規模な回顧展である。多数の代表作を含めて、150 点を超える過去最大規模により
野十郎芸術の真髄に迫る本展では、野十郎が生涯よりどころとした仏教的思想や、野十郎の人となりにも
迫る。
- ◆ イベント等
 - 内覧会
 - ① 日 時：令和 7 年 10 月 10 日 (金) 14:30～17:00 (ギャラリートーク 15:00～)
 - ② 会 場：福岡県立美術館 4 階展示室・3 階展示室
 - ③ 参加者：132 名 (マスコミ、招待者)
 - スライドトーク
 - ① 日 時：令和 7 年 10 月 11 日 (土)、10 月 16 日 (木)、11 月 13 日 (木)、12 月 6 日 (土)
14:00～14:40
 - ② 会 場：4 階視聴覚室
 - ③ 参加費：無料 (申込不要、要入場券)
 - ③ 参加者：276 名 (10/11 75 名、10/16 63 名、11/13 65 名、12/6 73 名)

●ワークショップ「月夜のヨガ」

- ① 日 時：令和7年10月31日（金）18：00～20：00
- ② 会 場：福岡県立美術館 1階彫刻展示室
- ③ 講 師：CHIZU
- ④ 参加費：2,000円（要申込、要入場券）
- ⑤ 参加者：20名

●ワークショップ「わたしのろうそく」

- ① 日 時：令和7年11月3日（月・祝）10：30～12：00/13：30～15：00
- ② 会 場：福岡県立美術館 1階彫刻展示室
- ③ 参加費：1,000円（要申込、要入場券）
- ④ 参加者：20名

●講演会 A-side「高島野十郎への道」

- ① 日 時：令和7年11月8日（土）14：00～15：30
- ② 会 場：福岡県立美術館 4階視聴覚室
- ③ 講 師：西本 匡伸（当館学芸員）
- ④ 参加費：無料（要申込、要入場券）
- ⑤ 参加者：71名

●アクロス・ミュージックキャラバン in 県美

- ① 日 時：令和7年11月15日（土）第1部：13：30～14：00／第2部：15：00～15：30
- ② 会 場：福岡県立美術館 2階ロビー
- ③ 演 者：〈ヴァイオリン〉小野山 莉々香、〈ピアノ〉田中 美江
- ④ 参加費：無料（申込不要）
- ⑤ 参加者：計184名（第1部94名、第2部90名）

●講演会 B-side「高島野十郎は孤高の画家だったのか」

- ① 日 時：令和7年11月23日（日・祝）14：00～15：30
- ② 会 場：福岡県立美術館 4階視聴覚室
- ③ 講 師：高山 百合（当館学芸員）
- ④ 参加費：無料（要申込、要入場券）
- ⑤ 参加者：71名

●クロストーク「野十郎カフェ」

- ① 日 時：令和7年11月27日（木）14：00～16：00
- ② 会 場：福岡県立美術館 1階喫茶室
- ③ マスター：西本 匡伸（当館学芸員）
- ④ 参加費：メニューオーダー制（要申込、要入場券）
- ⑤ 参加者：27名

●その他

「九州文化塾×又吉直樹」

- ① 日 時：令和7年10月25日（土）13：00～
- ② 会 場：アクロス福岡 シンフォニーホール
- ③ 講 師：又吉 直樹（お笑い芸人、作家）、高山 百合（当館学芸員）
- ④ 参加費：無料（要申込）
- ⑤ 参加者：30名（当選者を九州文化塾に特別招待）

◆主要広報実績

- ・RKB毎日放送 スポットCM
- ・NHK 「日曜美術館」
- ・テレビ西日本 「[生]報道ワイド 記者のチカラ」
- ・西日本新聞 「日曜美術館」、開幕記事、展覧会特集記事
- ・読売新聞 展覧会記事
- ・毎日新聞 社告、開幕記事、展覧会特集記事、作品紹介記事、イベント記事、閉幕記事

令和7年度福岡県立美術館所蔵品巡回展

移動美術館展 ～洋館と時を紡ぐアート～

- ◆会 期：令和8年1月24日（土）～3月1日（日） 32日間
- ◆休 館：月曜休館（2月23日（月・祝）は開館、翌24日（火）は休館）
- ◆会 場：大川市立清力美術館
- ◆入場料：一般300円（250円）
 - *（ ）内は15名以上の団体割引料金
 - *高校生以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介助者は無料
- ◆主 催：令和7年度福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」実行委員会
（大川市、大川市教育委員会、福岡県立美術館）
- ◆共 催：公益財団法人福岡県教育文化奨学財団
- ◆入場者数：1,859人
- ◆展覧会概要：

平成7年度に開館10周年を記念し、所蔵品巡回展「移動美術館展」を開催して以降、県立美術館が長年収集してきた美術作品の中から福岡県にゆかりの深い近現代の洋画、日本画、工芸、彫刻の作品を県下各地で紹介してきた。平成18年度からは、趣旨を新たに「ファーストステップとしての美術館」と設定し、従来の名品紹介に加え、子どもたちにも親しみやすい展覧会づくりを実現してきた。

令和7年度は大川市立清力美術館で開催した。約20年ぶりの開催となった今回は、大川市、筑後地域にゆかりの作品を中心に、歴史ある建物にあわせて選び出した作品約60点を展示した。

ギャラリートークや会場で作品の模写を行うイベントを開催し、近隣地域からも数多くの人々に来場いただくことができた。

◆関連事業

（1）「移動美術館展」を活用した鑑賞教育入門講座

日時：令和8年1月23日（金） 15:00～16:30 参加者：22名

講師：高橋大輔（福岡県立美術館指導主事）、中島由実子（福岡県立美術館学芸課）

（2）ギャラリートーク

日時：令和8年1月24日（土）、2月1日（日）

各回14:00～

参加者：1月24日（土）30名／2月1日（日）25名

（3）ワークショップ「もしやもしや大会」

日時：令和8年2月8日（日）参加者：12名

令和8年2月15日（日）参加者：12名

◆作成印刷物：

- ・ B 2 ポスター、A 4 両面チラシ、チケット、リーフレット

◆記事・報道等

- ・ ホームページへの掲載（福岡県立美術館）
- ・ SNS 配信（大川市立清力美術館、福岡県立美術館）
- ・ 西日本新聞「新聞美術館」にて展示作品の紹介を掲載（1 月 11 日、1 月 25 日、2 月 8 日、2 月 22 日）
- ・ 有明新報社に掲載（2 月 28 日）
- ・ NHK 福岡ニュース「ロクいち」で報道（2 月 10 日）

貸館事業

県内の美術家や美術団体などに、作品発表の場として、展示室（１～４）、彫刻展示室、視聴覚室の使用を許可。詳細は令和７年度展示施設（貸館等）使用状況及び令和７年度展示施設使用者一覧のとおり。

- ◆受付期間： ４月末まで ……その年度の後半（１０月～翌年３月）
 １０月末まで ……次の年度の前半（翌年４月～９月）

- ◆使用料：（展示開始の日から展示終了の日まで１日につき）

展示室	面積	無料展	有料展
展示室１	298㎡	7,310円	11,030円
展示室２	198㎡	4,960円	7,440円
展示室３	189㎡	4,710円	7,060円
展示室４	131㎡	3,090円	4,710円
彫刻展示室	147㎡	3,710円	5,580円
視聴覚室	87㎡（80席）	午前９時～１２時	3,710円
		午後１時～６時	6,200円

※貸館は原則として１週間単位。（６日間）

◆利用方法

○申込み

所定の様式にて、普及課へ申請。

○貸館の決定

４月までの申込分は５月中・下旬に、１０月までの申込分は１１月中・下旬に通知。

○使用料納付

展示室等利用の２週間前までに納付書を送付。納期限までに納入。

○展示作業

- ・使用許可証に記載してある時間帯で実施。（９時～１７時）
- ・係員の指示に従い展示。

○展示期間中

- ・受付の配置。（９時５０分から１８時まで）
- ・１０時に開室し１８時に閉室。
- ・花輪・生花等の飾りは原則として認めない。
- ・日毎の入場者数を記録、問題点は普及課へ連絡。
- ・主催者控室を利用の場合は、監視室にて鍵の受け渡しを行う。

○撤去作業

- ・使用許可証に記載してある時間帯で実施。（１８時～２０時）
- ・展覧会開始日の３週間前までに「搬出撤去に係る閉室時間繰り上げ申請書」を提出することにより、通常１８時の搬出撤去日の閉室時間を１５時まで繰り上げ可能。
- ・係員の指示に従い撤去。使用した用具を返却。
- ・終了時、係員の点検を受けた後、報告書を提出。

◆展示室の使用許可基準（令和6年3月14日〔原則〕、〔許可の条件〕一部改訂）

〔原則〕

- （１） 当館が主催、あるいは共催する展覧会を優先する。
- （２） 当館が主催展、あるいは共催展の実施に支障のない範囲で、展示室の使用を許可する。
- （３） 展覧会の内容が次の各号のいずれかに該当する場合、展示室の使用を許可しない。
 - ①法令に違反するもの又はそのおそれのあるもの
 - ②公序良俗に反するもの又はそのおそれのあるもの
 - ③人権侵害となるもの又はそのおそれのあるもの
 - ④その他内容について選考委員会が不適切であると判断するもの

〔許可の条件〕

- （１） 使用料は別途発行する納入通知により展示室等使用前に納入すること。
- （２） 搬入・展示・搬出の際は、使用許可証に記載している時間を遵守すること。
- （３） 搬出撤去作業は20時までには終了すること（時間厳守）。なお、展覧会開始日の3週間前までに「搬出撤去に係る閉室時間繰り上げ申請書」を提出することにより、通常18時の搬出撤去日の閉室時間を15時まで繰り上げることができること。この場合、他の来館者の迷惑とならないよう館職員の指示に従い、搬出撤去作業には万全の注意を払うこと。
- （４） 閉室時間を繰り上げる場合の周知、説明は主催者の責により行うこととし、繰り上げに伴う使用料の返金は行わないこと。
- （５） 使用者が、その責に帰す理由により使用物件、そのほか財産の全部または一部を滅失または損傷したときは、損害を賠償するものとする。ただし、現状に回復した場合はこの限りではない。
- （６） 出陳作品の保管、監視等管理上の責は使用者が負うものとする。
- （７） 上記（１）～（６）及び第1項を遵守できない場合若しくはその他展示室の使用に際して当館職員の指示に従わない場合は、その後の展示室使用については認めず、その場合、（１）の使用料は返金しないこと。

令和7年度展示施設(貸館等)使用状況

利用団体等	延べ開催日数(日)	入場者数(名)
入場有料の場合(有料展) 2団体	12	2,538
入場無料の場合(無料展) 61団体	374	35,801
計 63団体	386	38,339

令和7年度展示施設使用者一覧

No	展覧会名称	主 催 者	期 間	展示室	内 容	入場料	入場者数
1	第21回金曜会作品展	西日本写真協会 博多支部 金曜会	4/1～4/6	彫	写真	無料	361
2	甦る こ・ぎ・れの世界	キルトスペース聚	4/1～4/6	1	パッチワークキルト	無料	866
3	第21回あとえ展	あとえ	4/1～4/6	2	油彩・水彩・パステル・色鉛筆	無料	438
4	奈古窯「木蓮の会」作陶展	奈古窯	4/1～4/6	3	陶芸	無料	381
5	YOUICHIROU展	安本 洋一郎	4/1～4/6	4	油彩・パステル	無料	201
6	写楽壮健写真展	写真クラブ(写楽壮健)	4/8～4/13	彫	写真	無料	506
7	「私の織」富永久仁代工芸作品 自然により添い 子供・孫・曾孫達の着物展	富永 久仁子	4/8～4/13	1～3	着物	無料	624
8	言の葉たちと集う仲間たちと	恵翔会	4/8～4/13	4	書	無料	212
9	第53回「日本の書展」九州展	公益財団法人 全国書美術振興会 名義共催:西日本新聞社	5/28～6/1	1～4	書	無料	1,004
10	創作50周年記念 超絶技巧の和柄曼荼羅アート「松尾まさこ 縁起絵作品展」	松尾 まさこ	6/3～6/8	彫	絵画・陶器	無料	487
11	第63回 富士フィルムフォトコンテスト入賞作品展	富士フィルム株式会社	6/3～6/8	1	写真	無料	581
12	専門学校福岡ビジュアルアーツ・アカデミー 進級制作展 -梅雨の陣-	専門学校福岡ビジュアルアーツ・アカデミー 写真学科、CG映像学科	6/3～6/8	2～3	写真・映像・CG	無料	414
13	第49回毎日女流書展	毎日新聞社、西部毎日書道会	6/10～6/15	彫 1～4	書	無料	555
14	チョークアートグループ展 vol.13	グラフィティ・ファクトリーチョークアートデザインズ	6/17～6/22	彫	チョークアート	無料	672
15	第76回二科西人社美術展	二科西人社、西日本新聞社	6/17～6/22	1～3	油彩	無料	565
16	スクラッチアート・切り絵作家 アセム個展	アセム	6/17～6/22	4	切り絵・スクラッチアート	無料	354
17	第99回国展福岡展	国画会	6/24～6/29	彫 1～4	絵画・版画・彫刻・工芸・写真	有料	1,480
18	第70回糸島美術工芸展 福岡展	糸島美術協会	7/1～7/6	彫	工芸	無料	483
19	森和彦 1979～2025 作品展	森 和彦	7/1～7/6	1～2	油彩画・アクリル画	無料	414
20	二人展(重松正人・憲子)	重松 正人	7/1～7/6	3	水彩画・壁面装飾作品	無料	451
21	第38回工芸美術知新会展	知新会	7/1～7/6	4	工芸	無料	409
22	ふくおか県芸術文化祭2025 2025福岡県シニア美術展	福岡県、ふくおか県芸術文化祭実行委員会、公益社団法人福岡県美術協会	7/15～7/21	彫 1～4	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン	無料	2,259
23	井出靖が収集した日本のロックポスター展-1969年から1986年まで-	井出 靖	9/30～10/5	彫	ポスター	有料	1,058
24	第46回西日本版画協会展	西日本版画協会	10/7～10/13	彫	版画	無料	542
25	溪雪 墨の世界 with students	アトリエ遊我	10/15～10/19	彫	日本画・書	無料	284
26	MOA美術館 福岡児童作品展	MOA美術館福岡児童作品展実行委員会	10/21～10/26	彫	絵画・書	無料	1,281
27	第7回 魚心堂教室書画印展	魚心堂	11/5～11/9	彫	書画	無料	342
28	第54回 福岡市医師会文化祭美術展	一般社団法人 福岡市医師会	11/11～11/16	彫	油絵・アクリル画・鉛筆画・写真・手芸・工芸	無料	431
29	「工房は一べすと」ペイント教室作品展	工房は一べすと 黒川つきえ	11/18～11/24	彫	アクリル画	無料	207
30	カワイ絵画造形教室 「ちいさなてがあそんだ」	(株)河合楽器製作所	11/26～11/30	彫	平面、立体作品等	無料	499

No	展覧会名称	主 催 者	期 間	展示室	内 容	入場料	入場者数
31	第10回 一東書道会 福岡支局展	一東書道会 福岡支局	12/2～12/7	彫	書	無料	727
32	第25回ロータリー・ジュニア美術展	福岡中央ロータリークラブ	12/9～12/14	彫	絵画	無料	838
33	第30回記念九洋展	太平洋美術会 西日本支部	12/16～12/21	彫	絵画・染織・版画	無料	336
34	第3回 全九州書道展(第71回書初揮毫大会、第60回全九州新春書道展)	福岡書道会	12/20～12/27	2～4	書	無料	764
35	第61回游展	游会	12/23～12/27	彫	油彩画・水彩画	無料	365
36	福岡県高等学校芸術・文化連盟 福岡地区写真展	福岡県高等学校芸術・文化連盟	12/23～12/27	1	写真	無料	237
37	Toru Terashima Solo Exhibition "56-02"	寺島 徹	1/6～1/12	彫	パステル画等	無料	521
38	2025 ふくおか県障がい児者美術展	ふくおか県芸術文化祭実行委員会	1/6～1/12	1～2	絵画・書・写真	無料	1,087
39	「家庭の日」「オアシス運動」作文・ポスター作品展	公益社団法人福岡県青少年育成県民会議	1/6～1/12	3	作文・ポスター	無料	235
40	薨と社とその周辺(筑豊編) 黒川実写真展	黒川 実	1/6～1/12	4	写真	無料	279
41	九州産業大学付属九州高等学校 造形芸術科 第60期生卒業制作展・授業作品展	九州産業大学付属九州高等学校 造形芸術科	1/14～1/18	彫 1～4	絵画、彫刻、工芸、映像等	無料	749
42	福岡県立太宰府高等学校芸術科(美術・書道)第38回卒業制作展	福岡県立太宰府高等学校	1/20～1/25	彫 1～4	油彩・日本画・デザイン・彫刻・工芸・書等	無料	1,486
43	YOUICHIROU展	安本 洋一郎	1/27～2/1	彫	油絵・パステル画	無料	320
44	第40回 福岡市中学校美術部合同作品展	福岡市中学校美術教育研究会 福岡市教育委員会 福岡市中学校文化連盟	1/27～2/1	1～3	絵画	無料	644
45	十儂展	樋口 十儂	1/27～2/1	4	オブジェ・アッサンブラージュ・銅版画・コラージュ等	無料	336
46	専門学校福岡ビジュアルアーツ・アカデミー卒業制作展 写真学科 Photo Exhibition2026 × CG映像学科「!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」涙	専門学校福岡ビジュアルアーツ・アカデミー 写真学科、CG映像学科	2/3～2/8	彫 4	写真・映像	無料	504
47	西南学院大学書道部65周年記念展	西南学院大学書道部・楽書会(卒業生)	2/3～2/8	1	書	無料	289
48	Kyushu Portrait Models Directory 写真展 2025	Kyushu Portrait Models Directory写真展実行委員会	2/3～2/8	2～3	写真	無料	372
49	第35回 福岡県中学校美術展	福岡県中学校美術教育研究会	2/10～2/15	彫 1～4	絵画、彫刻、工芸等	無料	2,796
50	旧上庄小レジデンスプログラム2025 成果展(仮)	九州芸文館美術展実行委員会	2/17～3/1	彫	インスタレーション	無料	1,216
51	西日本短期大学 緑地環境学科「学びの発表会2025」	西日本短期大学緑地環境学科	2/17～2/23	1～3	研究発表	無料	391
52	福岡大学書道部創立65周年記念展	福岡大学書道部	2/17～2/23	4	書	無料	309
53	第57回 九州かな書道協会展	九州かな書道協会	2/25～3/1	1～4	書	無料	547
54	令和七年度 福岡教育大学 書道専攻書作展	福岡教育大学書道専攻	3/3～3/8	彫 4	書	無料	391
55	令和7年度 福岡教育大学卒業制作展(美術)・赤馬展(仮)	福岡教育大学	3/3～3/8	1	油彩画・日本画・木彫・平面構成・立体構成・金属工芸・教科研究	無料	617
56	福岡教育大学中等教育教員養成課程書道専攻 第二十四期生卒業書作展	福岡教育大学中等教育教員養成課程書道専攻 第二十四期生	3/3～3/8	2～3	書	無料	390
57	第六回福岡日展会作品展	福岡日展会	3/10～3/15	彫 1～4	日本画・洋画・彫刻・工芸・書	無料	906
58	第16回平川幸児写真教室写真展「道標-ポートフォリオ」	平川幸児写真教室	3/17～3/22	彫	写真	無料	501
59	第4回 蔵春会書展	蔵春会 (福岡教育大学書道科OB会)	3/17～3/22	1～3	書	無料	383
60	RURU 2026	るる	3/17～3/22	4	立体・絵画	無料	303
61	グループJAMA展 '26	グループJAMA	3/24～3/29	彫	彫刻・立体・絵画	無料	354
62	くばらだんだんアートの世界展2026	株式会社久原本家グループ本社、一般社団法人だんだんボックス	3/24～3/29	1～3	絵画	無料	442
63	第21回九大美術会展	九大美術会	3/24～3/29	4	油彩画・日本画・水彩画等	無料	343
総 計							38,339

※令和7年度の展示室貸出期間は、令和7年4月1日～令和8年3月29日まで。

普及事業

◆美術館ニュース「とっぷらいと」の発行状況

号 数 (発行月)	主な掲載記事
第 131 号 (R7. 8)	・展覧会紹介 特集「没後 50 年 高島野十郎展」 ・コレクション展Ⅰ「福岡県立美術館開館 40 周年&福岡県文化会館開館 60 周年 フワクのミワク、こっそりカンレキ！」 ・「みんなの画材—山本文房堂・的野恭一から見えた福岡の美術」(仮) ・コレクション通信「高島野十郎《ひまわり》」 ・スケジュール
第 132 号 (R7. 11)	・展覧会紹介 特集「みんなの画材—山本文房堂の的野さんは、野見山暁治さんとともにこの街を励まし続けた」 ・展覧会 特集「次の半世紀へとつなぐ 没後 50 年 高島野十郎展」 ・展覧会紹介「令和 7 年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 移動美術館展～洋館と時を紡ぐアート～」 ・コレクション通信「吉村忠夫《麻須良乎》」 ・スケジュール
第 133 号 (R8. 3)	・展覧会 特集「やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ」 ・コレクション展 福岡県美のたからもの ・コレクション通信「小島一義《東風吹かば》」 ・スケジュール

◆美術教養講座

- ・写真についてのワークショップ「みんなの写真」

日時：令和 8 年 2 月 14 日(土) 14:00～16:00

講師：木原千裕氏（写真家） 6 名参加（事前予約制）

- ・油絵具についてのワークショップ①「油絵具をつくろう」

日時：令和 8 年 2 月 21 日(土) 10:00～12:00

講師：柴田正見氏（ホルベイン画材株式会社） 11 名参加（事前予約制）

- ・油絵具についてのワークショップ②「油絵具の溶き油について学ぼう」

日時：令和 8 年 2 月 21 日(土) 14:00～15:30

講師：柴田正見氏（ホルベイン画材株式会社） 10 名参加（事前予約制）

*以上、企画展「みんなの画材—山本文房堂の的野さんは、野見山暁治さんとともにこの街を励まし続けた」関連ワークショップとして開催した。

◆ 「令和7年度スケジュール」の発行状況

1 掲載内容

- ・特別展、企画展の展覧会情報
- ・コレクション展の展覧会情報
- ・利用案内、交通案内等

2 発行部数

32,000 部（日本語版 30,000 部、英語版 2,000 部）

3 主な送付先

全国美術館、全国博物館、県内大学、県内画廊、画材店、市町村教委、県立学校、教育庁各課、教育庁出先、アクロス福岡、その他文化センター、近郊ホテル等

◆ ウェブサイトコンテンツについて (<https://fukuoka-kenbi.jp>)

1 コンテンツの種類

- ・来館・利用案内
アクセス（交通案内）、利用案内、施設貸出、お車でお越しのお客様へ
- ・展覧会・イベント
展覧会、イベント、県展について、年間リーフレット
- ・コレクション
コレクションについて、所蔵品検索、バーチャル美術館、野十郎通信、所蔵品 200 選
- ・まなぶ
えでゆけんび、先生たちへ、スクールミュージアム事業
- ・美術館について
福岡県立美術館について、年報、ケンビブログ、どこでもケンビ、図録・グッズ等、新福岡県立美術館整備について
- ・お知らせ・問合せ
お知らせ、博物館実習について、画像利用について、県内のミュージアム、お問い合わせ

※『県内のミュージアム』では福岡県博物館協議会加盟館園を掲載

（『地震、そのとき博物館は ー福岡県西方沖地震における県内博物館の被災に関する報告書』のダウンロードによる紹介あり）

2 ウェブサイトアクセス数

947,476 件

◆スクール・ミュージアム事業（アートコース）

1 趣 旨

福岡県立美術館は、福岡県における美術活動の促進と県民の美術に関する知識と教養の向上に寄与する展覧会活動などを長年続けてきた。特に近年、地域社会における美術館の役割が注目され、それに伴い美術館と学校との連携もますます重要になってきている。図画工作科・美術科学習指導要領では、児童生徒や学校の実態に応じて地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりするよう明示されており、美術館で行う鑑賞教育の積極的な実施が求められるようになってきている。

こうした現状を踏まえ、福岡県教育委員会が推進する学校支援事業の一環として、福岡県立美術館、福岡県青少年科学館、九州歴史資料館及び一般財団法人福岡県教職員互助会の四者で児童生徒の体験活動にかかる合同事業を行うことにより、情操教育、美術教育、科学教育、歴史教育の活性化及び地域文化の振興発展に寄与することを目的とし、スクール・ミュージアム事業を実施している。

福岡県立美術館で実施するスクール・ミュージアム事業（アートコース）では、児童生徒に美術館で本物の美術作品を直に鑑賞する機会を提供している。担当職員による展覧会の説明やワークシートを活用した鑑賞活動など様々なプログラムを通して、児童生徒の新たな見方や感じ方への気づきを導き、同時に文化施設利用のマナーについて自覚を高めることに貢献している。

2 主 催：福岡県立美術館、福岡県青少年科学館、九州歴史資料館、一般財団法人福岡県教職員互助会

3 実施期間：令和7年5月～令和8年1月

4 実施対象展覧会

（1）鬼塚勝也 ファイティングアート展

令和7年4月19日（土）～ 令和7年5月25日（日）

（2）コレクション展Ⅰ フワクのみわく、こっそりカンレキ！

令和7年6月28日（土）～ 令和7年8月29日（金）

（3）第80回福岡県美術展覧会（県展）

令和7年9月2日（火）～ 令和7年9月28日（日）

（4）福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」

令和7年10月11日（土）～ 令和7年12月14日（日）

（5）みんなの画材―山本文房堂の的野さんは、野見山暁治さんとともにこの街を励まし続けた

令和8年1月20日（火）～ 令和8年3月8日（日）

5 対 象 校：県内の公立小・中・義務教育学校・高等学校、中等教育学校、特別支援学校

6 補助対象経費（主催者負担）

- ・実施対象展覧会の観覧料（児童生徒及び引率教員分）
- ・往復バス借上料及び有料道路使用料、観覧中の駐車料金（実費相当額）
（ただし、バス借上料は上限額あり。）
※往復の経路に体験活動を重視した他の社会教育施設等を含めることも可能
- ・学習プログラムの実施に係る材料費

7 実施校一覧

小学校

	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			館主催の展覧会	主な実施内容
1	小都市立立石小学校	4、5	39	4	5月20日	火	午前	鬼塚勝也 ファイティングアート展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、鬼塚勝也氏に質問(本人来館)
2	久留米市立金丸小学校	6	119	9	5月21日	水	午前・午後	鬼塚勝也 ファイティングアート展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、鬼塚勝也氏に質問(本人来館)
3	大川市立宮前小学校	5	17	2	7月3日	木	午前	コレクション展 第1期	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
4	大川市立三又小学校	5	24	3	7月4日	金	午前	コレクション展 第1期	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
5	豊前市立三毛門小学校	4	42	3	7月15日	火	午前	コレクション展 第1期	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
6	豊前市立宇島小学校	6	24	2	9月10日	水	午前	第80回福岡県美術展覧会(日本画・工芸・デザイン)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
7	上毛町立友枝小学校	6	17	3	9月17日	水	午前	第80回福岡県美術展覧会(洋画)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
8	春日市立春日野小学校	4	92	5	10月17日	金	午前・午後	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
9	久留米市立水縄小学校	6	32	2	11月5日	水	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
10	春日市立春日南小学校	4～6	32	9	11月19日	水	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
11	福岡市立下山門小学校	5	70	4	11月21日	金	午前・午後	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
12	福岡市立杵岐東小学校	5	10	2	11月28日	金	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
13	小都市立東野小学校	5	46	3	12月4日	木	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
14	うきは市立吉井小学校	4	32	3	12月5日	金	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
15	久留米市立草野小学校	5、6	19	3	12月12日	金	午後	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
16	久留米市立山川小学校	5	74	5	1月21日	水	午前・午後	みんなの画材—山本文房堂の的野さんは、野見山暁治さんとともにこの街を動かし続けた	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
			計	689	62				

中学校

	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
17	北九州市立石峯中学校	2	35	4	5月16日	金	午後	鬼塚勝也 ファイティングアート展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、鬼塚勝也氏に質問(本人来館)
18	柳川市立柳南中学校	1	56	5	9月3日	水	午前	第80回福岡県美術展覧会(彫刻・写真)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
19	義務教育学校八女市立みさき学園	3	35	2	9月19日	金	午前	第80回福岡県美術展覧会(洋画)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
20	福岡市立長尾中学校	1～3	6	5	10月21日	火	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
21	広川町立広川中学校	1～3	21	10	10月29日	水	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
			計	153	26				

高等学校

	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
22	福岡県立福島高等学校(定時制)	1～4	52	8	5月2日	金	午前	鬼塚勝也 ファイティングアート展	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、鬼塚勝也氏に質問(本人来館)
23	福岡県立八幡中央高等学校	1、2	74	4	10月23日	木	午前・午後	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
24	福岡県立明善高等学校(定時制)	1～4	68	10	10月24日	金	午後	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
25	福岡県立大川樟風高等学校(定時制)	1～4	15	9	11月7日	金	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
26	福岡県立朝倉高等学校(定時制)	1～4	67	9	11月12日	水	午前・午後	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
			計	276	40				

特別支援学校

	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
27	福岡県立福岡聴覚特別支援学校	中1～3	11	8	9月12日	金	午前	第80回福岡県美術展覧会(日本画・工芸・デザイン)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
28	福岡県立福岡特別支援学校	高1～3	16	13	11月26日	水	午前	福岡県立美術館開館40周年記念「没後50年 高島野十郎展」	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
			計	27	21				

	児童生徒数	引率数	総計
実施済み参加校数(28校)	1145	149	1,294

収集事業

◆収集基本方針

- 1 美術品
福岡県出身作家及び本県ゆかりの作家の近世・近代・現代の作品を対象とする。
- 2 美術資料
 - ア 国内外の展覧会図録や大型画集を中心に美術図書を収集する。
 - イ 広く美術館情報収集に努める。
 - ウ 美術関係のビデオソフトの充実を図る。
 - エ ハイビジョンソフトの充実を図る。

◆収集美術品数

種別 年度	購入金額(税込)(円)	日本画	洋画	彫刻	工芸	その他	合計
平成11年度以前	1,049,792,500	86 67	131 1,366	26 76	82 186	2 16	327 1,711
平成12年度	0	10	17			2	29
平成13年度	0	1	36			1	38
平成14年度	0	5	18	3	25	65	116
平成15年度	0	2	82	2	6		92
平成16年度	0	6	12	2			20
平成17年度	0		21	1		1	23
平成18年度	0	2	17	2	2	1	24
平成19年度	0	2	5		1		8
平成20年度	0	2	36				38
平成21年度	0	2	18		1		21
平成22年度	0	5	15	7	7		34
平成23年度	0	2	23	5			30
平成24年度	0	1	2	1	1	3	8
平成25年度	0	31	14		10	5	60
平成26年度	0		4			1	5
平成27年度	0	3	31				34
平成28年度	0	2	29	1	5		37
平成29年度	0	7	13		25	36	81
平成30年度	70,350,000	1	25	1	6	13	46
令和元年度	0	2	203	56		4	265
令和2年度	81,000,000	4	60	3		67	134
令和3年度	0	6	15	3	4	4	32
令和4年度	20,130,000	8	14	1	2		25
令和5年度	0	5	18		24	1	48
令和6年度	71,500,000	7	67	5	8	7	94
令和7年度	0	2	19	3	9	29	62
合計	1,292,772,500	88 185	137 2,180	26 172	94 322	5 256	350 3,115
		273	2,317	198	416	261	3,465

上段は購入件数、下段は寄贈件数(管理換を含む)

◆令和7年度新収蔵品（寄贈）一覧

no	作家名	作品名	制作年	材質 種別	数量	寸法
1	木戸龍一	幻影	昭和46年	木、着彩	1点	30.5×32.0×（高）63.0cm
2	木戸龍一	材木 77-2	昭和52年	木	1点	195.0×45.0×（高）48cm
3	築城則子	小倉縞木綿帯「紫翠邂逅」	令和元年	木綿	1点	幅 34.8 cm
4	オチ・オサム	題不詳（球体シリーズ）	昭和51年	油彩・カンバスボード	1面	14.0×18.0cm
5	石里洞秀	龍図	文政3年	絹本墨画	1面	68.4×96.2 cm
6	中村琢二	西伊豆早春（安良里）	不詳（戦後期）	油彩・画布	1面	31.7×41.0 cm
7	中村琢二	石廊崎の春	不詳（戦後期）	油彩・画布	1面	38.5×45.5 cm
8	森田加奈子	scene・g	平成16年	色鉛筆、油彩・板段ボール	1面	190.0×250.0 cm
9	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1978	昭和52年	銅板	1面	75.2×55.3 cm
10	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1979	昭和53年	銅板	1面	65.0×49.7 cm
11	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1980	昭和54年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
12	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1981	昭和55年	銅板	1面	53.0×70.0 cm
13	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1982	昭和56年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
14	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1983	昭和57年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
15	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1984	昭和58年	銅板	1面	70.0×53.0 cm (2枚組)
16	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1985	昭和59年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
17	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1986	昭和60年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
18	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1987	昭和61年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
19	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1988	昭和62年	銅板	1面	53.0×70.0 cm
20	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1989	昭和63年	銅板	1面	53.1×71.7 cm
21	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1990	平成元年	銅板	1面	53.1×71.7 cm
22	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1991	平成2年	銅板	1面	70.0×53.1 cm
23	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1992	平成3年	銅板	1面	53.0×70.0 cm
24	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1993	平成4年	銅板	1面	53.0×70.0 cm
25	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1994	平成5年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
26	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1995	平成6年	銅板	1面	53.0×70.0 cm
27	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1996	平成7年	銅板	1面	71.5×52.5 cm
28	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1997	平成8年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
29	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1998	平成9年	銅板	1面	71.0×52.0 cm
30	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 1999	平成10年	銅板	1面	53.0×70.0 cm
31	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 2000	平成11年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
32	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 2001	平成12年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
33	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 2002	平成13年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
34	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 2006	平成17年	銅板	1面	70.0×53.0 cm
35	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 2007	平成18年	銅板	1面	71.0×52.5 cm
36	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 2008	平成19年	銅板	1面	70.8×52.5 cm
37	東京藝術大学版画研究室	アトリエC-126 カレンダー 2009	平成20年	銅板	1面	70.0×53.0 cm

38	江藤日出男	植える	昭和 44 年	青銅	1 点	18×18×120(高)cm
39	江藤日出男	僕の戦闘機	昭和 52 年	黄銅、白銅	1 組	70×70×55(高)cm
40	江藤日出男	鋳銅二輪挿「イモノムシ」Ⅱ	平成 17 年	青銅	1 点	33.5×37×44(高)cm
41	江上茂雄	無題	不詳	パステル、紙	1 面	33.3×39.0 cm
42	江上茂雄	無題	不詳	パステル、紙	1 面	37.2×55.7 cm
43	江上茂雄	小袋山	不詳	パステル、紙	1 面	27.5×38.7 cm
44	江上茂雄	無題	不詳	水彩、パステル、紙	1 面	25.8×36.4 cm
45	江上茂雄	無題	昭和 59 年	水彩、パステル、紙	1 面	25.7×36.7 cm
46	江上茂雄	無題	昭和 60 年	水彩、パステル、紙	1 面	25.6×36.3 cm
47	江上茂雄	無題	平成 6 年	水彩、パステル、紙	1 面	25.7×36.4 cm
48	江上茂雄	無題	平成 16 年	水彩、パステル、紙	1 面	25.8×36.3 cm
49	江上茂雄	無題	平成 17 年	水彩、パステル、紙	1 面	25.7×36.3 cm
50	江上茂雄	無題	平成 20 年	水彩、パステル、紙	1 面	25.8×36.4 cm
51	江上茂雄	無題	平成 20 年	水彩、パステル、紙	1 面	25.7×36.3 cm
52	高木秋子	木綿地風通織着物「蘇鉄群落」	平成 15 年	木綿	1 領	身丈 154.5cm 桁 64.5cm
53	高木秋子	木綿地風通織着物「残菊」	平成 16 年	木綿	1 領	身丈 154.5cm 桁 64.5cm
54	高木秋子	木綿地風通織着物「八重山の春」	平成 16 年	木綿	1 領	身丈 168.3cm 桁 66.5cm
55	高木秋子	木綿地風通織着物「若竹頌」	平成 19 年	木綿	1 領	身丈 162.0cm 桁 70.8cm
56	高木秋子	木綿地風通織着物「夜半の海」	平成 19 年	木綿	1 領	身丈 168.5cm 桁 65.5cm
57	白石久三郎	晩夏	昭和 12 年	油彩・画布	1 面	145.5×188.3 cm
58	山喜多二郎太	雨後	昭和 29 年	油彩・画布	1 面	97.5×130.5 cm
59	山崎朝雲	種痘	明治 41 年	木彫	1 軀	23.0×23.0×68.0 cm
60	児島善三郎	風景	明治 42-44 年	油彩・板	1 面	25.0×33.8 cm
61	児島善三郎	松	不詳	紙本墨画	1 面	28.0×60.0 cm (色紙)
62	伊藤研之	港	昭和 37 年	油彩・画布	1 面	60.6×72.7 cm

◆美術館資料整備状況

1 美術図書室収納図書資料数

大 分 類		総 冊 数 (R8. 3. 31現在)	令和7年度 受入冊数	内 訳	
				購 入	寄 贈
A	美 術 総 記	5,505	39	0	39
B	日 本 美 術	4,061	29	0	29
C	西 洋 美 術	2,156	0	0	0
D	東 洋 美 術	467	3	0	3
E	図 録	25,130	583	0	583
F	福 岡 資 料	2,185	26	0	26
G	関 係 諸 学	1,791	2	0	2
計		41,295	682	0	682

※雑誌 24タイトル 16,654冊

2 ビデオテープ数

大 分 類		本 数
A	当館企画展覧会	6
B	西 洋 美 術	46
C	現 代 美 術	6
D	東 洋 美 術	16
E	世界古代遺跡	25
F	日本美術（平安時代）	27
G	日本美術（中世～近世）	28
H	日本美術（近代日本画・洋画等）	26
I	日本美術（近代工芸）	63
J	技法・学習	30
K	その他	16
計		289

3 ハイビジョンソフト数

鑑賞ソフト	
「日本で見られる19世紀フランス美術」	(20タイトル)
「パリで見られる19世紀フランス美術」	(20タイトル)
「印象派展覧会」	(8タイトル)
「連作の魅力」	(12タイトル)
「都市の表情」	(4タイトル)
「パリで見られる19世紀フランス美術Ⅱ」	(10タイトル)
「人物画の名品」	(10タイトル)

4 複製絵画数 95点

5 利用者数等

図書室開室日数	283 日
図書室利用者数	3,852 人
レファレンス数	594 件

博物館実習

令和7年度博物館実習は、6大学から6名の実習生を受け入れて実施した。

実習の最終目標を「仮想の展覧会を企画する」とし、最終日に展覧会企画のプレゼン行うという課題を与えた。実習期間中に開催していたコレクション展を用いて、展覧会の目的や企画のための方法やその普及について学んだほか、美術資料の取り扱いをはじめとする学芸業務について各種実習を行い、学芸課各職員の講義を交えながら、全6日間の日程で実施した。

・実習期間

令和7年8月25日(月)～令和7年9月1日(月) (延べ6日間)

・実習内容

- 1) 福岡県立美術館について (講義)
- 2) 展覧会企画について (講義)
- 3) 美術品、美術関連資料の取扱いについて
 - ・作家及び作品調査で必要な視点について (講義)
 - ・作品のコンディションチェック、作品調書作成等 (実習)
- 4) コレクション展を用いた活動
 - ・展覧会紹介 (講義)
 - ・鑑賞教育現場における現状・課題の把握 (実習)
 - ・ギャラリートーク (実習)
- 5) 美術図書室を用いた活動
 - ・美術館における美術図書室の在り方・使い方 (講義)
 - ・美術図書室作業 (実習)
- 6) 仮想展覧会の企画プレゼン (実習)

大学名	人数
筑紫女学園大学	1名
八洲学園大学	1名
福岡大学	1名
西南学院大学	1名
四国大学	1名
佐賀大学	1名
合計 6大学	6名

美術作品の貸出

貸出件数11件 貸出点数241点

No.	分野	作家名／産地	作品名	主催者	展覧会期・会場	目的	
1	日本画	阿部春峰	紅梅鴨図 他62件	九州芸文館美術展実行委員会	令和7年5月17日～6月15日 九州芸文館	「福岡県立美術館コレクション展 動物たちに囲まれて―身近なトモダチ―」展への出品のため	計 63点
2	油彩画等	高島野十郎	蠟燭 他63点	毎日新聞社、巡回各館	令和7年7月18日～9月28日 千葉県立美術館 以後福岡県美、豊田市美、大阪中之島、宇都宮美、松濤を巡回	「没後50年 高島野十郎展」への出品のため	計 64点
3	その他	菊畑茂久馬	ルーレット（ターゲッ）	福岡市美術館	令和7年9月2日～11月3日 福岡市美術館	「菊畑茂久馬展」への出品のため	計 1点
4	油彩画等	中村研一	サイゴンの夢	福岡アジア美術館、沖縄県立美術館	令和7年9月6日～11月9日 福岡アジア美術館 令和7年11月22日～令和8年1月18日 沖縄県立美術館	「ベトナム、記憶の風景」展への出品のため	計 1点
5	日本画	富田溪仙	琉球帖	特別展「珠玉の近代絵画-「南国」を描く。」実行委員会（福岡市美術館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス）	令和7年10月11日～11月24日 福岡市美術館	「珠玉の近代絵画―「南国」を描く。」展への出品のため	計 6点
	工芸	柏崎栄助	クロドン文色漆小物入				
		柏崎栄助	黒漆小物入				
		柏崎栄助	朱漆小物入1				
		柏崎栄助	朱漆香水入				
		柏崎栄助	色漆手箱3				
6	工芸	朝田	染付吉夢図徳利 他38件	九州歴史資料館	令和7年10月11日～12月7日 九州歴史資料館	「江戸時代に華ひらいた福岡のやきもの」への出品のため	計 39点
7	その他	牛島智子	トライアングル	国立国際美術館、熊本市現代美術館	令和7年11月1日～令和8年2月15日 国立国際美術館	「ブラカードのために」展への出品のために（※展示は熊本市現代美術館へ巡回したが、本作は国立国際のみ展示）	計 1点
8	油彩画等	古賀春江	竹藪	久留米市美術館、毎日新聞社	令和7年11月8日～令和8年1月18日 久留米市美術館	「ちくごist 深よみ 古賀春江」への出品のため	計 5点
		古賀春江	埋葬				
		古賀春江	窓				
		古賀春江	漁夫				
	工芸	豊田勝秋	遅日				
9	油彩画等	水原房次郎	夏の夜 戦果をききいる少年達	板橋区立美術館	令和7年11月8日～令和8年1月12日 板橋区立美術館 令和8年1月31日～3月23日 郡山市立美術館 令和8年4月11日～5月31日 新潟市美術館	「戦後80年 戦争と子どもたち」展への出品のため	計 1点
10	油彩画等	野見山暁治	廃坑 (A)	北九州市立美術館、読売新聞社	令和8年1月4日～3月15日 北九州市立美術館	「鉄と美術展」への出品のため	計 2点
		野見山暁治	群像（坑内）				
11	油彩画等	坂本繁二郎	能面 他57点	令和7年度福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」実行委員会	令和8年1月24日～3月1日 大川市立清力美術館	「令和7年度移動美術館展 洋館と時を紡ぐアート」展への出品のため	計 58点

どこでもケンビ（バーチャル美術館事業）

福岡県立美術館では、新型コロナウイルスと共存せざるを得ないこの時代、「新しい生活様式」への対応のため、地方創生臨時交付金によりバーチャル美術館等の制作に取り組み、令和3年3月29日に公開を開始した。

具体的には、当館ホームページのトップページ等をリニューアルして、よりわかりやすく情報をお知らせするとともに、新たに「どこでもケンビ」と題して、そこに「福岡県立バーチャル美術館」と「edukenbi（えでゅけんび）」という2つの魅力的なサイトを立ち上げ、自宅等にいながらも、当館の美術品をじっくり鑑賞し、また児童生徒の皆さんにも楽しく学習してもらえるような内容にした。

◆福岡県立バーチャル美術館

<https://virtualmuseum.fukuoka-kenbi.jp>

「高島野十郎の世界」、「福岡県美のたからもの」、「福岡県立美術館紹介ムービー」の3つの柱で構成し、「孤高の画家」、「蠟燭の画家」として知られる高島野十郎（1890-1975）の作品を中心に、当館が所蔵する珠玉の作品を自宅等にしながら高精細画像で鑑賞することができ、そしていつかまた本物を観るために美術館を訪れたくなるような内容を目指した。

令和7年度アクセス数 97,063 件

◆edukenbi（えでゅけんび）

<https://edukenbi.fukuoka-kenbi.jp>

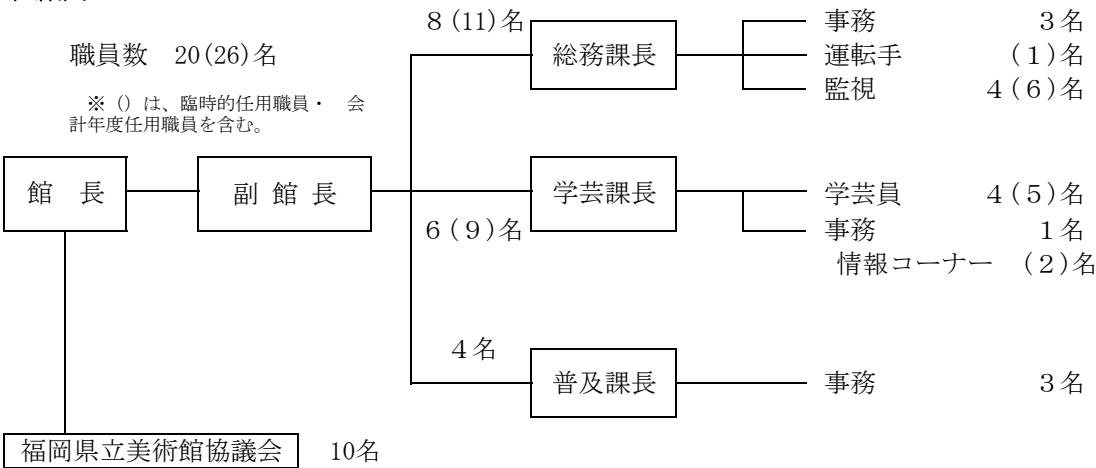
「子どもたちのための美術と学びのウェブサイト」として、おうちにいながら、インタラクティブな地図を探索して福岡県立美術館の作品について学んだり、動画をみたり、アクティビティに挑戦したりできる内容にした。

今後も作品紹介や動画を随時追加しながら、そのほかのインタラクティブなツールや学校の先生や保護者に役立つ資料・素材などを提供していく予定である。

令和7年度アクセス数 13,267 件

組織図・名簿

組織図



令和7年度職員

館長	日高 公德	学芸課長	鈴木 理恵
副館長	明永 好弘	学芸課副長	高山 百合
総務課長	秋山 真紗代	特任学芸員	西本 匡伸
総務課副長	山田 哲也	技術主査	岡部 るい
主任主事	高野 晃平	主任技師	中島 由実子
主事	白井 ちはや	主任主事	藤井 那美
主任技能員	大東 正治	主任技師	八並 美咲
主任技能員	山口 聡	図書室補助職員	長田 杉美
主任技能員	野中 篤成	図書室補助職員	池田 千代美
主任技能員	松村 貴行	普及課長	本田 真澄
技能員	井上 誠治	指導主事	
技能員	大東 誠幸	兼普及課副長	新谷 幸子
技能員	藤木 真二	指導主事	
		兼事務主査	高橋 大輔
		主任主事	岡田 理瑛

福岡県立美術館協議会委員

任期 自 令和7年9月7日
至 令和9年9月6日

委員名	現職名
今林 久	福岡県議会議員
植野 健造	福岡大学人文学部教授
牛川 由美	筑紫野市教育委員会委員
宇田川 宜人	公益社団法人福岡県美術協会理事長
小泉 恵英	九州国立博物館副館長
小西 良平	川崎町立真崎小学校長
辻 未央	NPO法人 宇美こども子育てネットうーみん副代表理事
中山 景子	久留米市市民文化部文化振興課課長補佐
三島 美佐子	九州大学総合研究博物館教授
森山 淳子	認定NPO法人 ニコちゃんの会代表理事

※名簿 50音順

福岡県立美術館協議会開催状況

日時 令和8年2月17日(火)

- 議 事
- (1) 令和7年度実施の主要事業について
 - (2) 令和7年度福岡県立美術館の自己評価について
 - (3) 令和8年度実施予定の主要事業(案)について
 - (4) 令和8年度福岡県立美術館の自己評価(計画段階)について

主要各室概要

展示部門

階	展示室	面積 (㎡)	使用料 (1日)		摘 要
			有料展	無料展	
1	彫刻展示室	147	5,580	3,710	天井高 5.38m 搬入口 W1.7×H2.6 (m)
3	展示室 1	298	11,030	7,310	天井高 3.25m 固定壁面 224m 壁面延長時306m (最大) (可動パネル使用) 展示室1 107m 展示室2 80m 展示室3 69m 展示室4 57m 可動パネル w1.66×H2.6×D0.95 (m)
	展示室 2	198	7,440	4,960	
	展示室 3	189	7,060	4,710	
	展示室 4	131	4,710	3,090	
	計	816			
4	常設展示室	441	観覧料 () 内は団体料金 一般 210円 (170円) 高大生 140円 (110円) 小中生 60円 (50円)		天井高 3.3m 固定壁面 119m 固定ケース 6.7m×6
合 計		1,404			
4	ギャラリー		壁面 (傾斜角30°の展示台) 19m		

収蔵部門

階	室 名	面積 (㎡)	摘 要
収蔵庫 3～7	収 蔵 庫	245	49㎡ × 5室 搬出入エレベータ 出入口寸法 幅2,000mm 高さ2,500mm かご内法 間口2,000mm 奥行2,450mm
本館3	大内田茂士 遺作収蔵庫	46	
合 計		291	

サービス部門

階	室 名	面積 (㎡)	摘 要
1	カフェテラス	80	喫茶・軽食
2	ハイビジョン ギャラリー		10席 65インチ液晶テレビ 静止画再生装置
4	視聴覚室	87	80席 大型スクリーン 16mm映写機 スライド映写機、液晶プロジェクター 使用料 9:00～12:00 3,710円 13:00～18:00 6,200円
	美術図書室 情報コーナー	236	20席 開架式書架、自由閲覧方式 美術情報レファレンスカウンター コインロッカー(23)
	ビデオコーナー		2ブース 自動放映システム

管理部門

階	室 名
1	監視室、印刷燻蒸室、ボイラー管理室、機械室、シャワー室、職員休憩室 総合案内控室、美術団体交流室
2	館長室、副館長室、事務室（総務課・学芸課・普及課）、会議室
3	荷解室、倉庫
4	情報コーナー事務室、視聴覚編集室、視聴覚操作室、撮影室

ロビー・その他

階	室 名	摘 要
1	総合案内	
	エントランスホール	コインロッカー、ロビーチェア、車椅子、ベビーカー
2	ロビー	丸テーブル、ロビーチェア
	授乳室	ベンチ
3	主催者控室	
	エントランスホール	コインロッカー
	休憩コーナー	ロビーチェア
4	エントランスホール	車椅子、ベビーカー

建築概要

- 1 名称 福岡県立美術館
- 2 管理
 - 設置者 福岡県
 - 管理者 福岡県立美術館
 - 主管課 福岡県教育庁教育振興部社会教育課
- 3 所在地 福岡市中央区天神 5 丁目 2 番 1 号
(郵便番号 810-0001)
- 4 電話等 電話 092-715-3551
FAX 092-715-3552
- 5 供用開始日 昭和 60 年 (1985 年) 11 月 3 日
- 6 建築
 - 工期 昭和 59 年 7 月 6 日 (起工) ~ 昭和 60 年 7 月 31 日 (竣工)
 - 設計 (株)佐藤企画 (旧称: 佐藤設計事務所)
福岡県建築部営繕課
 - 施工 建築工事 (株)龍建設・旭・広田建設共同企業体
電気工事 東和・サン電工建設企業体
設備工事 大橋・久栄共同企業体
 - 総工費 約 14 億円
- 7 土地
 - 面積 敷地 3,256.00 m²
 - 財産分類 借受
 - 所有者 福岡市
 - 現況地目 宅地
 - 借受目的 美術館用地
 - 借受期間 当初 昭和 35 年 9 月 1 日
開始 昭和 60 年 8 月 1 日 (貸借契約締結)
終了 美術館の存する間
 - 借受料 なし
- 8 建物
 - 分類 行政財産
 - 構造 鉄筋コンクリート造地上 4 階建 (本館部分)
鉄骨鉄筋コンクリート造地上 7 階建 (収蔵庫部分)
 - 価格 646,867,088 円 (令和 8 年 3 月 31 日現在)
 - 面積 敷地面積 3,256.00 m²
建設面積 1,975.83 m²
延床面積 6,929.08 m²

設備概要

- 1 電気設備
 - 変圧器 単相 50KVA×1、単相 75KVA×2
三相 200KVA×1、三相 1,2 相(スコット)30KVA×1
進相コンデンサー 50KVA×1、20KVA×4
 - 直流電源装置 鉛蓄電池(シール形据置)150Ah-10HR
 - 非常用発電機 ガスタービン 3φ-3W 220V 187.5KVA
 - 電話設備 電子式 局線 5 回線
 - 放送設備 防災放送設備、BGM放送設備、インターホン設備
 - 防災設備 自動火災報知、煙感知器連動制御、非常照明
非常放送、誘導灯
 - 防犯設備 ITV監視装置 カメラ 17 台(うち電動式 13 台)
 - 視聴覚設備 AVガイドシステム 3 ブース
16 ミリ映写機、スライド映写機
データビューアー
ハイビジョン 65 インチ液晶テレビ
設置型液晶プロジェクター 静止画再生装置
移動型液晶プロジェクター
 - 照明設備 展示室 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
(調光付 80~450LUX)、白熱電球 60W
配線ダクト設備
収蔵庫 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
視聴覚室 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W
ロビー レフランプ 100W
- 2 機械設備
 - 冷温水発生機 吸収冷温水機ガス焚き HAU-FH100CXR 冷凍 351.6kW 加熱 422.0kW
 - 空気調和器 6 基(ファンコイルユニット併用)
- 3 給排水設備 受水槽(FRP 製)16t、高架水槽(FRP 製)4.5t
- 4 昇降機設備 乗用(兼用:車いす用) 750Kg 1 基、乗用 2,200Kg 1 基
荷物用 2,000Kg 1 基
- 5 加湿設備 電気蒸発式加湿器 蒸気発生量 15 kg/H

年度別入館者状況

年度 区分		平成25年度 以 前	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	累 計
展 覧 会 ①	常設展	242,217	6,114	13,395	10,784	15,311	9,085	7,626	7,551	7,170	3,005	7,612	3,010	332,880
	企画展	230,138	8,441	6,182	6,574	9,258	8,043	1,737	2,627	7,298	5,532	7,480	2,956	296,266
	県展	355,034	9,843	9,337	9,805	8,893	8,990	0	7,028	7,200	7,815	7,529	7,419	438,893
	実行委 員会展	1,288,439	41,475	76,495	77,411	63,781	52,842	12,010	18,167	21,053	23,562	51,201	26,462	1,752,898
	小計	1,643,473	51,318	85,832	87,216	72,674	61,832	12,010	25,195	28,253	31,377	58,730	33,881	2,191,791
	貸館展	2,705,902	58,008	76,652	86,253	89,722	64,334	24,418	32,593	46,392	20,502	36,948	38,339	3,280,063
計		4,821,730	123,881	182,061	190,827	186,965	143,294	45,791	67,966	89,113	60,416	110,770	78,186	6,101,000
展 覧 会 ②	移動美術館展	12,191	1,079	1,268	3,527	1,246	1,871	1,471	818	2,016	1,033	2,483	1,859	30,862
	イベント等	25,721	4,309	7,084	6,545	4,604	3,576	379	687	2,028	1,110	2,928	4,261	63,232
	計	37,912	5,388	8,352	10,072	5,850	5,447	1,850	1,505	4,044	2,143	5,411	6,120	94,094
そ の 他	美術図書室	218,949	4,131	4,411	4,617	4,380	3,371	1,740	1,872	2,764	1,963	3,571	3,852	255,621
	ビデオブース	153,357	1,464	1,167	974	1,380	882	0	0	0	655	1,199	1,563	162,641
	ハイビジョン	203,452	6,714	15,078	4,914	6,216	5,010	5,139	2,922	3,810	2,805	5,136	3,948	265,144
	カフェテラ ス (平成26年度 ～集計)	10,760	20,685	29,910	27,482	28,545	21,383	8,035	7,402	8,141	4,415	8,154	6,833	181,745
	計	586,518	32,994	50,566	37,987	40,521	30,646	14,914	12,196	14,715	9,838	18,060	16,196	865,151
合 計		5,446,160	162,263	240,979	238,886	233,336	179,387	62,555	81,667	107,872	72,397	134,241	100,502	7,060,245

年間開館日数	—	268	304	304	305	277	258	269	269	165	296	298	—
--------	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---

企画展の開催状況一覧

(過去10ヶ年)

年度	展覧会名	開催会期 (開催日数)	入場者数		
			総数	有料	無料
28	九大百年 美術をめぐる物語	28.10.8～11.13(32日間)	2,831	762	2,069
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 2017 写真家片山攝三 肖像写真の軌跡	29.2.4～3.20(39日間)	3,351	2,018	1,333
	計		6,182	2,780	3,402
29	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 番外編 ARS/NATURA - 「風景」の向こう側 -	29.10.7～11.26(44日間)	2,982	1,633	1,349
	没後50年 中村研一展	30.2.3～3.11(32日間)	3,592	1,867	1,725
	計		6,574	3,500	3,074
30	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2018 泰光コレクション寄贈記念展 鹿児島寿蔵の人形と短歌	30.10.6～11.25(44日間)	4,513	2,179	2,334
	平成30年度独立行政法人国立美術館巡回展 国立国際美術館コレクション：美術のみかた 自由自在	30.12.18～31.2.5(37日間)	4,745	2,773	1,972
	計		9,258	4,952	4,306
令和元	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2019 新たな高島野十郎展	1.10.5～11.24(44日間)	7,001	3,971	3,030
	赤星孝と赤星信子展	2.2.1～3.8(32日間) →2.27で中止(23日間)	1,042	528	514
	計		8,043	4,499	3,544
2	1964ー福岡県文化会館、誕生。	2.7.18～8.27(35日間) →次年度へ開催延期	-	-	-
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2020 生きることから 柏崎栄助とデザイン	3.1.23～3.14(44日間)	1,737	855	882
	計		1,737	855	882
3	1964ー福岡県文化会館、誕生。	2.7.23～9.2(36日間) →新型コロナウイルス感染症の感染 拡大防止のため8.5で中止(12日間)	311	169	142
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2021 豊福知徳寄贈記念展 光の探求	4.1.22～3.13(44日間)	2,316	1,242	1,074
	計		2,627	1,411	1,216
4	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2022 牛島智子 2重らせんはからまない	4.10.15～12.4(44日間)	2,032	939	1,093
	寄贈記念展 野見山暁治	4.12.17～5.2.12(43日間)	5,266	2,802	2,464
	計		7,298	3,741	3,557
5	生誕130年 児島善三郎展	5.10.7～5.12.10(55日間)	5,532	2,514	3,018
	計		5,532	2,514	3,018
6	久留米絃と松枝家展	6.10.12～12.1(44日間)	4,612	1,699	2,913
	中村研一と中村琢二展	6.12.21～7.2.2(31日間)	2,866	1,570	1,296
	計		7,478	3,269	4,209
7	みんなの画材——山本文房堂の的野さんは、野見山 暁治さんとともにこの街を励まし続けた	8.1.20～8.3.8(42日間)	2,956	1,506	1,450
	計		2,956	1,506	1,450

※令和5年度は改修工事等に係る臨時休館のため、企画展は1本のみ。

※令和7年度は共催展「没後50年 高島野十郎展」を4階でも実施したため、企画展は1本のみ。

共催展(実行委員会方式)の開催状況一覧

(過去10か年)

年 度	展 覧 会 名	開 催 会 期 (開催日数)	入 場 者 数			共 催 等
			総 数	有 料	無 料	
28	色彩の奇跡 印象派展	28.4.16～28.6.5 (45日間)	47,858	35,404	12,454	TNCテレビ西日本 西日本新聞社
	ビートルズ・ポター™生誕150周年 ピーターラビット™展	28.10.28～28.12.11 (39日間)	28,637	21,090	7,547	読売新聞社 RKB毎日放送 東映
	平成28年度 移動美術館 なかま 色とかたちのハーモニー	29.2.9～29.2.28 (18日間)	1,268	117	1,151	中間市 中間市教育委員会
	計		77,763	56,611	21,152	
29	POWER OF PRINCESS 「ディズニープリンセスとアナと雪の女王 展」	29.4.14～29.6.11 (52日間)	57,009	46,015	10,994	電通 KBC九州朝日放送
	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	29.10.27～29.12.10 (39日間)	20,402	14,032	6,370	西日本新聞社 TVQ九州放送 朝日新聞社
	平成29年度 移動美術館 柏の森の美術館	29.11.2～29.12.4 (34日間)	3,527	402	3,125	飯塚市教育委員会
	計		80,938	60,449	20,489	
30	息を呑む繊細美 切り絵アート展	30.4.20～30.6.3 (41日間)	33,361	24,216	9,145	毎日新聞社 RKB毎日放送
	印象派への旅 海運王の夢 パレルコレクション	30.10.12～30.12.9 (52日間)	30,420	20,202	10,218	毎日新聞社 FBS福岡放送
	平成30年度 移動美術館展 大きなクスの木の下で美術館展vol.10	31.2.2～31.2.24 (20日間)	1,246	238	1,008	宗像市教育委員会 宗像ユリックス
	計		65,027	44,656	20,371	
31 (1)	ウォルト・ディズニー・アーカイブス展	31.4.19～1.6.16 (52日間)	41,070	31,512	9,558	KBC九州朝日放送 電通
	大相撲展福岡	1.10.18～1.12.1 (41日間)	11,772	7,054	4,718	読売新聞社 RKB毎日放送 LOVE FM 東映
	令和元年度 移動美術館展 出会おう！ミカでアート	2.1.10～2.2.6 (24日間)	1,871	222	1,649	那珂川市教育委員会 公益財団法人那珂川 市教育文化振興財団
	計		54,713	38,788	15,925	
2	ストラスブール美術館展 ～印象派からモダンアートへの眺望～	2.6.5～2.7.19 (39日間)		※開催中止		毎日新聞社 TNCテレビ西日本
	没後70年 吉田博展	2.10.16～2.12.13 (51日間)	12,010	9,378	2,632	毎日新聞社 RKB毎日放送
	令和2年度 移動美術館展 おおむたアートミュージアム	3.1.20～3.2.11 (21日間)	1,471	445	1,026	大牟田市 公益財団法人大牟田 市文化振興財団
	計		13,481	9,823	3,658	

年 度	展 覧 会 名	開 催 会 期 (開催日数)	入 場 者 数			共 催 等
			総 数	有 料	無 料	
3	ムーミンコミックス展	3.5.15～3.7.11 (50日間)	10,849	8,912	1,937	西日本新聞社 RKB毎日放送 東映
	近代日本絵画の名作展 —ひろしま美術館コレクション—	3.10.29～3.12.26 (51日間)	7,318	6,093	1,225	毎日新聞社 西日本新聞社
	令和3年度 移動美術館展 時を超えたアートステーション	4.1.18～4.2.13 (24日間)	818	505	313	桂川町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		18,985	15,510	3,475	
4	杉浦非水 時代をひらくデザイン	4.4.15～4.6.12 (52日間)	11,590	9,447	2,143	KBC九州朝日放送 西日本新聞社
	日本の切り絵 7人のミューズ	4.10.28～4.12.25 (51日間)	9,463	7,230	2,233	毎日新聞社 TNCプロジェクト TNCテレビ西日本
	令和4年度 移動美術館展 梅香る八女は美術も華ざかり!	5.2.4～4.2.26 (20日間)	2,016	916	1,100	八女市 八女市教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		23,069	17,593	5,476	
5	テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展	5.10.27～5.12.24 (51日間)	23,562	20,152	3,410	九州朝日放送 東映
	令和5年度 移動美術館展 アート、すえひろがり。	5.11.3～5.11.26 (21日間)	1,033	388	645	須恵町 須恵町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		24,595	20,540	4,055	
6	「鹿児島 まいにち」展	6.4.24～6.6.23 (54日間)	15,003	12,341	2,662	KBC九州朝日放送 西日本新聞社
	生誕100年 山下清展 —百年目の大回想	6.10.25～6.12.22 (51日間)	36,198	29,815	6,383	毎日新聞社 RKB毎日放送
	令和6年度 移動美術館展 芸術の海へ飛び出そう 3館をめぐる芦屋アートの旅	7.2.22～7.3.16 (21日間)	2,483	1,266	1,217	芦屋町 芦屋町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		53,684	43,422	10,262	
7	鬼塚勝也 ファイティングアート展	7.4.19～7.5.25 (32日間)	6,164	3,999	2,165	テレビ西日本 西日本新聞社
	福岡県立美術館開館40周年記念 「没後50年 高島野十郎展」	7.10.11～7.12.14 (56日間)	20,298	16,791	3,507	毎日新聞社
	令和7年度 移動美術館展 ～洋館と時を紡ぐアート～	8.1.24～8.3.1 (32日間)	1,859	298	1,561	大川市 大川市教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		28,321	21,088	7,233	

※実行委員会方式による共催展は昭和62年度から実施。

福岡県美術展覧会(県展)の開催状況一覧

(過去10か年)

年 度	会 期	公 募		入 場 者 数		
		出品数(人数)	入選数(人数)	総 数	有 料	無 料
27	1期 9月8日～9月13日 書	3,435(2,848)	1,372(1,365)	9,843	3,789	6,054
	2期 9月15日～9月20日 洋画					
71	3期 9月22日～9月27日 日本画 彫刻 デザイン					
回	4期 9月29日～10月4日 工芸 写真					
28	1期 9月6日～9月11日 書	3,414(2,813)	1,368(1,360)	9,337	3,444	5,893
	2期 9月13日～9月19日 洋画					
72	3期 9月21日～9月25日 日本画 彫刻 デザイン					
回	4期 9月27日～10月2日 工芸 写真					
29	1期 9月5日～9月10日 書	3,235(2,667)	1,347(1,338)	9,805	4,049	5,756
	2期 9月12日～9月18日 洋画					
73	3期 9月20日～9月24日 日本画 彫刻 デザイン					
回	4期 9月26日～10月1日 工芸 写真					
30	1期 9月4日～9月9日 書	2,947(2,471)	1,338(1,320)	8,893	3,688	5,205
	2期 9月11日～9月17日 洋画					
74	3期 9月19日～9月24日 日本画 彫刻 デザイン					
回	4期 9月26日～9月30日 工芸 写真					
31	1期 9月3日～9月8日 書	2,822(2,346)	1,323(1,303)	8,990	3,562	5,428
(1)	2期 9月10日～9月16日 洋画					
75	3期 9月18日～9月23日 日本画 彫刻 デザイン					
回	4期 9月25日～9月29日 工芸 写真					
2	※開催中止					
76						
回						
3	1期 9月7日～9月12日 彫刻 写真	2,587(2,161)	1,313(1,292)	7,028	2,792	4,236
	2期 9月14日～9月20日 日本画 工芸 デザイン					
76	3期 9月22日～9月26日 洋画					
回	4期 9月28日～10月3日 書					
4	1期 9月6日～9月11日 彫刻 写真	2,501(2,094)	1,289(1,271)	7,200	2,850	4,350
	2期 9月13日～9月19日 日本画 工芸 デザイン					
77	3期 9月21日～9月25日 洋画					
回	4期 9月27日～10月2日 書					
5	1期 9月5日～9月10日 彫刻 写真	2,441(2,501)	1,307(1,289)	7,815	2,956	4,859
	2期 9月12日～9月18日 日本画 工芸 デザイン					
78	3期 9月20日～9月24日 洋画					
回	4期 9月26日～10月1日 書					
6	1期 9月3日～9月8日 彫刻 写真	2,383(2,441)	1,307(1,307)	7,529	3,114	4,415
	2期 9月10日～9月16日 日本画 工芸 デザイン					
79	3期 9月18日～9月23日 洋画					
回	4期 9月25日～9月29日 書					
7	1期 9月2日～9月7日 彫刻 写真	2,301(1,946)	1,299(1,248)	7,419	3,071	4,348
	2期 9月9日～9月15日 日本画 工芸 デザイン					
80	3期 9月17日～9月21日 洋画					
回	4期 9月23日～9月28日 書					

県展巡回展の開催状況一覧

(過去10か年)

○第71回県展(平成27年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
宗像展	10月14日～10月23日	宗像ユリックス	644人
筑後展	11月8日～11月14日	大牟田文化会館	714人
筑豊展	11月17日～12月6日	嘉麻市立織田廣喜美術館	987人
			日本画・洋画・書・写真 183点
			日本画・洋画・書・写真 206点
			日本画・洋画・写真・デザイン・書 253点

○第72回県展(平成28年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月10日～10月16日	大牟田文化会館	788人
筑豊展	11月1日～11月20日	嘉麻市立織田廣喜美術館	786人
宗像展	11月22日～12月4日	宗像ユリックス	820人
			日本画・洋画・書・写真 214点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 242点
			日本画・洋画・書・写真 177点

○第73回県展(平成29年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月9日～10月15日	大牟田文化会館	905人
筑豊展	10月31日～11月19日	嘉麻市立織田廣喜美術館	874人
宗像展	11月21日～12月2日	宗像ユリックス	669人
			日本画・洋画・書・写真 211点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 242点
			日本画・洋画・書・写真 180点

○第74回県展(平成30年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月8日～10月14日	大牟田文化会館	715人
宗像展	10月16日～10月28日	宗像ユリックス	651人
筑豊展	10月30日～11月18日	嘉麻市立織田廣喜美術館	961人
北九州展	11月20日～11月25日	北九州市立美術館	2,098人
			日本画・洋画・書・写真 214点
			日本画・洋画・書・写真 174点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 238点
			全7部門 550点

○第75回県展(2019年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月7日～10月13日	大牟田文化会館	560人
宗像展	10月16日～10月25日	宗像ユリックス	478人
筑豊展	10月29日～11月17日	嘉麻市立織田廣喜美術館	746人
北九州展	11月19日～11月24日	北九州市立美術館	2,193人
			日本画・洋画・書・写真 203点
			日本画・洋画・書・写真 172点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 263点
			全7部門 557点

○第76回県展(令和2年度)

※開催中止

○第76回県展(令和3年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月12日～10月17日	大牟田文化会館	533人
筑豊展	10月20日～11月7日	嘉麻市立織田廣喜美術館	747人
宗像展	11月9日～11月21日	宗像ユリックス	585人
北九州展	11月24日～11月28日	北九州市立美術館	2,274人
			日本画・洋画・書・写真 213点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 269点
			日本画・洋画・書・写真 185点
			全7部門 579点

○第77回県展(令和4年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月10日～10月16日	大牟田文化会館	595人
筑豊展	10月18日～11月6日	嘉麻市立織田廣喜美術館	773人
宗像展	11月8日～11月20日	宗像ユリックス	579人
北九州展	11月30日～12月4日	北九州市立美術館	1,811人
			日本画・洋画・書・写真 188点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 251点
			日本画・洋画・書・写真 164点
			全7部門 565点

○第78回県展(令和5年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月8日～10月14日	大牟田文化会館	497人
筑豊展	10月18日～11月5日	嘉麻市立織田廣喜美術館	646人
宗像展	11月7日～11月19日	宗像ユリックス	569人
北九州展	11月22日～11月26日	北九州市立美術館	1,908人
			日本画・洋画・書・写真 175点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 238点
			日本画・洋画・書・写真 154点
			全7部門 559点

○第79回県展(令和6年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月6日～10月12日	大牟田文化会館	558人
筑豊展	10月16日～11月3日	嘉麻市立織田廣喜美術館	625人
宗像展	11月6日～11月16日	宗像ユリックス	495人
北九州展	11月20日～11月24日	北九州市立美術館	1,925人
			日本画・洋画・書・写真 171点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 229点
			日本画・洋画・書・写真 157点
			全7部門 551点

○第80回県展(令和7年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門 ・ 出 品 数
筑後展	10月19日～10月25日	大牟田文化会館	532人
筑豊展	10月29日～11月16日	嘉麻市立織田廣喜美術館	617人
北九州展	11月20日～11月24日	北九州市立美術館	2,800人
			日本画・洋画・書・写真 170点
			日本画・洋画・書・写真・デザイン 227点
			全7部門 550点

主要貸館展の開催状況一覧

(過去10か年)

年度	展 覧 会 名	開 催 会 期	開催日数	入場者数	主 催 者
28	2016福岡県シニア美術展	28.10.12～28.10.23	11日間	6,028	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
29	2017福岡県シニア美術展	29.10.11～29.10.22	11日間	5,227	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
30	2018福岡県シニア美術展	30.7.3～30.7.16	13日間	5,203	福岡県 (公社)福岡県美術協会
31 (1)	2019福岡県シニア美術展	1.10.2～1.10.14	12日間	5,115	福岡県 (公社)福岡県美術協会
2	2020福岡県シニア美術展	2.10.3～2.10.11 福岡県立美術館(日・洋・彫・工) 〔 2.10.3～2.10.8 アクロス福岡(書・写・デ) 〕	8日間 〔 6日間 〕	1,502	福岡県 (公社)福岡県美術協会
3	2021福岡県シニア美術展	3.10.12～3.10.24	12日間	2,191	福岡県 (公社)福岡県美術協会
4	2022福岡県シニア美術展	4.10.12～4.10.23	11日間	4,944	福岡県 (公社)福岡県美術協会
5	2023福岡県シニア美術展	5.10.7～5.10.15	8日間	5,714	福岡県 (公社)福岡県美術協会
6	2024福岡県シニア美術展	6.10.5～6.10.14	9日間	2,819	福岡県 (公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
7	2025福岡県シニア美術展	7.7.15～7.7.21	7日間	2,259	福岡県 (公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会

美術館利用案内

利用案内

●開館時間

展覧会	午前 10 時～午後 6 時（入場は午後 5 時 30 分まで）
ハイビジョン・ギャラリー	午前 9 時～午後 6 時
美術図書室	午前 9 時～午前 12 時、午後 1 時～午後 5 時 30 分
ビデオブース	午前 9 時～午後 5 時 30 分

●休館日

毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合はその翌平日）
年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

交通案内

●福岡市地下鉄空港線

天神駅 徒歩 10 分

●西鉄天神大牟田線

西鉄福岡(天神)駅 徒歩 15 分

●西鉄バス

福岡市民ホール 徒歩 2 分

福岡市民ホール北口 徒歩 2 分

天神北 徒歩 5 分

●自動車

福岡都市高速道路〔天神北〕ランプ 3 分

〃 〔築港〕ランプ 3 分

※旧福岡県立美術館駐車場は、令和 7 年 3 月 28 日から
須崎公園有料駐車場として福岡市による運用。